

“条件不利地区地域振兴与可持续发展”

国际学术研讨会

论文摘要集

主办单位：中国宁夏大学 日本岛根大学

承办单位：宁夏大学西部发展研究中心

宁夏大学·岛根大学国际联合研究所

中国 宁夏 银川

2009年11月

目 录

大会主题报告

- 理解认识中国西部条件不利地区农村的区域振兴与可持续发展（高柱英）…… 1
- ④ 中国西部条件不利地域農村における地域振興と持続可能な発展を理性的に認識する（高柱英）…………… 1
- 条件不利地区的区域振兴与可持续发展——地域振兴的现状考察（原道昌徳）…… 2
- 条件不利地域における地域振興と持続可能な発展——地域医療の観点から（塩原邦憲）…………… 3

大会学术交流

- 日本“地方自治”与中国区域振兴（保母武彦）…………… 4
- 日本における「地方自治」と中国区域振興について（保母武彦）…………… 6
- 绿洲边缘移民区土地退化防治的产业带动模式研究（宋乃平）…………… 7
- オアシス周辺移民区における土地退化防止のための産業形成モデルに関する研究（宋乃平）…………… 8
- 关于中国西北部农村可持续发展研究——基于彭阳县农村调查结果的研究（井口隆史、高柱英）…………… 9
- 中国西北部農村の持続可能な発展に関する研究——彭陽県の集落調査結果に基づく考察（井口隆史、高柱英）…………… 10
- 设施番茄砂培营养液配方筛选试验（李建设、卜燕燕）…………… 11
- 砂地におけるハウストマト栽培用の栄養液調査に関する選択試験（李建設、卜燕燕）…………… 11
- 从社会资本构成的主要因素看中国农村社会的变化——以中国宁夏银川市近郊农村为例——（伊藤隆久、菅原金三郎、菅小磯、曹志清）…………… 12
- ソーシャル・キャピタル構成要因からみた中国農村社会の変化に関する考察——宁夏银川市近郊農村の事例から——（伊藤隆久、菅原金三郎、菅小磯、曹志清）…………… 13
- 发达国家财政支农政策及对我国条件不利地区区域振兴与可持续发展的启示

「活志」)	14
包頭市の農業財政支援政策がわが国の発給不利地域の振興と持続可能な発展に与える効果(活志亭)	15
关于宁夏回族自治区绵羊饲养方法的建议(户俊义 宋乃平)	15
宁夏回族自治区におけるメシロウ飼養法についての提言(户俊義 宋乃平)	16
基于资金与效率的宁夏经济发展模式研究(何凤梅 仇娟蓉)	18
資金と効率に基づく寧夏經濟發展モデルに関する研究(何鳳梅、仇娟蓉)、大波河上流的水电、旅游开发与区域可持续发展道路选择(曾现江)	18
大波河上流域における水力発電、観光開発と地域の持続可能な発展への道の選択(曾現江)	19
宁夏沿黄城市带发展战略与模式研究——黄河金岸建设中的若干重要问题分析(宋文宝)	19
寧夏黃河沿市帯戦略とモードの研究——黃河金岸建設の若干重要な問題に関する分析(宋文宝)	20
大型自治区荒漠化防治政策的确立与演变(于永)	20
大型自治区における荒漠化防止政策の確立と変化(于永)	21
新农村建设：乡村公共生活的兴起与持续发展——基于内蒙古自治区W村的个案研究(黄河)	21
新農村建設における農村公共生活の出現と持続可能な発展—内蒙古自治区における事例を以て(黄河)	22
我国的高山移民实践及其中的物质问题与反身(李文学)	22
わが国における高山移民の実践とその研究状況の振り返りと反省について(李文学)	23
宁夏相对资源承载力分析(张小盟)	23
寧夏の相対資源承载力について分析(張小盟)	23
我区新型发展的道路与中日合作研发的可行性探索(王广合 王雁 杨建宁)	25
寧夏回族自治区における新型發展の課題と中日共同研究の実現性の探索(王広合 王雁 楊建寧)	24
宁夏沿黄城市带建设的几点思考(袁前进)	25

宁夏黄河流域都市带的建设についての思考（張朝輝）	26
历史视角与可持续发展目标下宁夏中部干旱带的水资源开发利用（何彤慧）	26
歴史的視点から見た持続可能な発展目標下での寧夏中部旱地地域における水資源の研究と利用（何彤慧）	27
条件不利地区农村劳动力转移比较研究——以宁夏南部山区和日本山内地区为例（王国庆）	27
条件不利地域における農村労働力の移転についての比較研究——寧夏南部山区と日本山内地区を例として（王國慶）	28
西北地区主体功能区划方法研究——以宁夏为例（米文宝）	28
西北地区における主な機能部の区分け方法に関する研究——寧夏を例として（米文宝）	29
关于循环经济城市形成的日中政策比较研究序论（吴桂华）	29
循環型経済都市の形成における日中の政策比較研究序論（吳桂華）	30
循环型经济都市の形成における日中の政策比較研究序論（海麒平）	30
前世紀人類健康維持与民族文化思考（马东雄）	31
前世紀の人類健康維持と民族文化に関する考察（馬東雄）	32
职业人群肥胖流行现状及其与血压、血糖、血脂关系的研究（陶莉莉、宋哲、杨建勇、强艳、杨慧芳、陈楠、杨建军、陶秀娟）	33
職業人群肥満流行現状及其と血圧、血糖、血脂関係の研究（陶莉莉、宋哲、楊建勇、強艶、楊慧芳、陳楠、楊建军、陶秀娟）	34
オブノスワームの肥満の蔓延状況を血圧、血糖、血脂関係の研究（陳莉莉、宋哲、宋健、強艶、楊慧芳、陳楠、楊建军、陶秀娟）	34
中国省向特色农业产业化经营的展开——宁夏回族自治区移民区闽宁镇武河村肉羊产业化经营为例（王琳、谷口宽治）	35
寧夏回族自治区閩寧鎮武河村の集落移動による肉羊産業畜産経営を事例として（王琳、谷口寛治）	36
宁夏经济振兴与人口可持续发展（苏东海）	37
寧夏經濟の振興と人口持続の可能な発展（蘇東海）	38
宁夏經濟の振興と人口持続の可能な発展（蘇東海）	38
利用遥感技术测量大面积森林的生物量（米康允）	38
リモートセンシングを用いた広域森林のバイオマス計測（米康允）	40
论西部民族地区生态安全与生态利益补偿机制的环境法律质询与规制（白利萍）	41

西部少数民族地区における生態保全と生態環境修復の法制に関する環境法律の改正と規制（白利輝）	42
宁夏干旱荒漠区苦豆子内生膜磷细菌的筛选及其抑菌物质研究初报（甄海霞）	42
宁夏的旱塬灌区における苦豆子(Sophora alopecuroides)の内生菌類(SPIROPLASMA AND MYCOTIC)細菌の選別とその抑菌物質に関する研究初報（甄海霞）	43
退耕还林工程与宁夏南部山区农村经济持续发展研究（袁荣）	43
退耕还林プロジェクトと宁夏南部山区の持続可能な農村経済発展に関する研究（袁榮）	44
农户和社区参与土地退化防治项目的自愿行动机制构建（刘永雷）	44
農家とコミュニティが参加する土地退化防止プロジェクトの自発的行動構造の形成（劉永雷）	45
内蒙古杭锦旗双庙镇盐土村乌兰在和沙漫治理效果的调查与分析（李亦青）	46
内蒙古杭锦旗双庙镇盐土村乌兰在和沙漫治理效果的調査与分析（李亦青）	46
内蒙古杭锦旗双庙镇盐土村におけるウランフハ砂漠の治理効果についての調査と分析（李亦青）	46
从我国五十年生规划及国内外健康产业发发展看我区职业技能人才培养的重要性（马东学）	46
我が国の医療衛生計画と国内外の健康管理産業の発展から宁夏回族自治区における職業技能人材育成の重要性を見る（馬東學）	47
中国二十年來扶貧贴息貸款的實施与挑戰——基于对湖南吉首和贵州六枝地区的调研与考察（张伟 胡霞）	48
中国二十一年來の扶貧低利息融資の實施と挑戰——湖南省湘西吉首地区と贵州省六枝地区に基づく調査研究（張偉 胡霞）	48
基于SPOT-VGT的宁夏高池县近8年生态环境动态监测（杜灵通 李国顺）	53
SPOT-VGTに基づく寧夏塩池縣の8年間の生態環境動態に対する監視測定（杜靈通 李國順）	53
民衆地区农村劳动力转移与农业现代化建设问题研究（田野）	53
民衆地区における農村労働力の流出と農業現代化建設問題に関する研究	

(回族)	54
农村劳动方式与形态的变化——当地农民和农村的关联(桑田恭介)	54
農村労働力の就業形態の変化・住民と農村のつながり(桑田恭介)	55
宁夏西海固地区劳务经济发展研究(韩秀敏)	56
寧夏西海固(西吉、海原、固原)地域の劳务経済発展に関する研究(韓秀敏)	
.....	57
科技创新与宁夏西海固地区农村经济增长(马丽)	57
科学技術の革新と寧夏西海固地域の農村経済成長(馬麗)	58
宁夏的风力发电(CDM)事业的经济效益和环境改善效果(唐文秀 王洪昌武)	
寧夏における風力発電 CDM 事業の経済効果と環境改善効果(唐文秀 王洪昌武)	
.....	60
日本高根县出云郡中区代表综合症的发病率调查——日本内科学会及厚生労働省の診断标准(三村 浩池 坪宏 山崎雅之 櫻健吾 井河徳 山口修平 益田聡)	
.....	61
島根県中出間地域におけるメタボリックシンドロームの有病率(三村 浩池 坪宏 山崎雅之 櫻健吾 井河徳 山口修平 益田聡)	
.....	62

大会主題報告

理性認識中國西部條件不利地區農村的地域振興與可持續發展

高松寬

寧夏大學・貴州大學國際共同研究所

关键词：西部农村，地域振興，可持續發展

摘要

中国西部条件不利地区农村是指西部大开发政策所涉及的中国的12个省区的贫困地带。这一区域最为显著的特征是，脆弱的生态环境与贫困的相互交错，而且恶劣的自然环境与过度的人口压力。使得这一区域仍然处在传统的农业时代，进入多数县农村相当原始，仍然是农民“当主角”，农业是根本，农业经济的性质并没有得到根本的变化。因此，这些地区的地域振興与可持續發展，一个最基本的提供就是消除贫困和维护生态安全，通过有区别的保护区政策将“民生经济”作为发展的根本目标，着眼未来开发经济模式全面开发高原乡村一体化。

中国西部条件不利地域農村における地域振興と持続可能な發展を 理性的に認識する

高松寛

寧夏大學・貴州大學國際共同研究所

キーワード：西部農村、地域振興、持続可能な發展

要旨

中国西部条件不利地域の農村とは、西部大開發政策が関わる中国の12の省・自治区を含む貧乏地域を指している。この地域が持っている最も明瞭な生態経済特徴は、脆弱な生態環境と貧困が交わっていることである。また、厳しい自然環境と過度の人口圧力により、この地域が今でも伝統的な農業時代にあたり、大部分の地域農村が今も原始的で、農民はまた「当主角」（農民が経済建設の中で主役を果敢に果たしている）地域であり、農業が基礎産業であるという。農業経済の性格が全く変わっていない状態なのである。従って、このような地域の振興と持続可能な發展の最も基本的な前提は貧困克服と生態保全であり、特別の保護政策によって「民生経済」を優先的に發展目標として、将来的に「民生経済」（或は民生の低掛出経済）モデルによる農村の「都市と農村の一体化」を実現しなければならない。

条件不利地区的地域振兴与可持续发展——地域医疗的现状考察

李能律先

郑州大学医学部环境预防医学

摘要

1 日本的条件不利地区

1960 年之后, 随着日本经济的飞速发展, 大量年轻劳动力从逐渐在山区地区(主要为农林渔业地区)向城市流动, 大城市人口密集、山区岛屿人口过疏的问题也随之而来。人口过疏的村组有 730 个, 占全国市町村数的 30%, 面积占日本国土面积的一半以上, 而人口约 100 万人(约占全国人口的 8% (2005 年人口普查数据))。

条件不利地区大部分是农、林、渔业地区, 担负着保护自然环境, 维护水资源, 防止地球温暖化等重要作用, 是保障国民正常生活的重要组成部分。

2 条件不利地区的生活和支援政策

人口过疏地区大多为不良的结果, 由于慢性人口减少和人口老龄化, 当地产业经济发展停滞不前(农林渔业等主要产业明显衰退, 制造业等新兴产业亦未立足发展等), 且保障地域教育、医疗、防灾等的财源筹措面临崩溃, 对废弃的排灌系统、森林迹地荒芜、许多村落面临破产。

公共设施, 医疗·保健, 交通建设, 通信网络等基础社会设施建设的地区差别问题日益

突出。日本政府, 对人口过疏地区从 1970 年开始制定实施了“过疏地区紧急对策法”, 相继了 1985 年实施的“紧急对策法”, 增加优惠机会, 提高地区的社会福利等, 充分利用丰富的自然资源 and 传统文化, 创建有特色的区域; 合理利用森林和土地, 维护国土完整, 保护水资源, 防止地球温暖化的发展, 实施多产能的对策。虽然生活水平的地域差异正在逐渐改善, 但是村落面临破产等现象还在增加又使形势更加严峻。

3 条件不利地区的医疗

在日本的社会福利体系中, 医疗是以社会保险的形式来提供的, 最早在 1927 年对矿山等危险职业的劳动者实施, 之后保障对象逐渐扩展, 至 1961 年才彻底实施完善的国民健康保险制度使全民都纳入保险范围, 持有健康保险证, 不论是谁都享有医疗可以接受平等的医疗服务。随着生活水平的提高, 国民的健康水平也提高了, 日本人的平均寿命和新生儿低死亡率都排世界的首位。

但是, 随着平均寿命的提高, 日本也进入了老龄化社会。75 岁以上的高龄者, 1 人的人均消费是其他年龄人的 5 倍, 所有高龄者一年的医疗费总额在 33 兆日元(2006 年度)。由于高龄人口的增加, 预计每年还将以大约 1 兆日元的比率增长, 同时, 日本政府在医疗·保健领域引入经济效率优先原理, 实际的减医疗费用投入。减少医院定员等措施, 其结果是,

又減退が、1995年の9397所減少し、2007年の8944所、而且正在繼續削減。這樣條件不利地區醫院的減少使病床數由1978年的1029所、2008年以來地方的醫院每年的赤字達2千億日元。截至2008年累計赤字已超過2兆日元。因此也就處地發生地方醫院、實踐公立醫院民營化的進展。

2001年發行的日本医師協会の報告書第一句可自由選擇自己所希望的人員。因此升進醫師多集中在大城市的醫院。而條件不利地區則是可升進的醫師的屬性的醫生數目減少。又更加條件不利地區的欠付醫院狀況。在條件不利地區的醫院和診所等處地區醫院的醫師不足。特別是小兒科、婦科和外科及非救護科的人員。急病診療服務也面臨醫師的不足。其他人員不足表現在、1) 醫師的絕對數不足、2) 醫院內容易的人數不足、3) 對地或離島的醫生不足、4) 各診療科間醫師的配置不均衡。

不利地區医療の課題

條件不利地區的医療體制、應以同有急救及行政升格的長官為中心、聯合地區和社區醫院和診所、牙醫診所、保健等福利院、建立一系列的医疗服务網絡。2007年11月、日本政府為了解決地域欠付問題、發表了高額3,000億日圓的「速成医療再興計劃」。該政策計劃首先實施為數的具體目標、要發揮醫療功能、提高急症應急的診療效率、強化家庭訪問服務、確保增加人員的數量、從而促進地域醫療的持續生存為目的。

条件不利地域における地域振興と持続可能な発展——地域医療の観点から

元帥 塚本

鳥取大学医学部環境予防医学

日本の条件不利地域

1960年代以降、日本經濟の高成長の中で、離島や中山間地域（農山漁村）から都市に若者の大規模な人口移動により、大都市では過剰問題が、中山間地域では過疎問題が生じた。全都市町村数は750、全町町村数は約4割、人口は約1,050万人（平成17年）の総人口、全国人口の8%、面積は日本国土の半分以上を占めている。

条件不利地域は大部分が農山漁村地域であるため、国土の保全、水産の増養、自然環境の保存、地球温暖化の防止などにより、国民生活に重要な役割を果たしている。

条件不利地域での生活と支援策

過疎化は、1) ますます人口減少と高齢化をきたらし、2) 地域産業經濟の停滞（基幹産業であった農林水産業が著しく衰減し、製造業など新たな事業場の立地が望めない）、3) 教育、医療、防災などの地域に基礎的資源確保に支援をきたし、4) 非営利産業が増加し、農林の産物が減り、多くの集落が消滅の危機に陥っている。

公共施設、下水道、下水道、情報通信施設、医療、交通や交通などの基礎的社會資本整備の格差が広がった。

このため、日本政府は、高齢地域に対して1970年代の「過疎地域対策緊急措置法」など、雅意に対しては1983年から「贈与振興法」による支援を継続している。加齢の増加、地域福祉の向上、豊かな自然環境や伝統文化などの地域資源を有効に活用性のある地域づくり、森林や農地の適正管理による国土保全による国土の保全、水質の改善、地球温暖化の防止を目的としている。生活水準の格差是正などの成果はもがっているが、限界集落の増加など危機的な状況は一刻深刻になっている。

条件不利な地域の医療

日本の社会保険の多くは、国庫は社会保険方式で供給され、1957年に既に労働者のための保険事業に就く労働者に施行された。徐々にその対象を広げ、1961年10月1日のときに施行する国民健康保険制度の整備により国民健康保険が達成された。全国民が保険者に入り、誰でも別なく医療機関で治療を受けることができる。生活水準の向上とも相まって、国民の健康水準は高まり、日本人の平均寿命の高さや乳児死亡率の低さは世界トップ水準にある。

しかし、75歳以上の高齢者が1人当たり100万円、その他の世代の5倍であり、年間医療費13兆円(2006年度)で、高齢者の増加等にもかかわらず毎年約1兆円、3%程度増加することが見込まれる。このため、日本政府は経済社会優等な医療・福祉分野に重点し、医療費の削減、国民健康計画の規制を決定してきた。その結果、病床数は1997(1997年)から8,811(2007年)へと減少を続けている。条件不利な地域の医療を担っている自治体病院は1,078から1,019へと削減に陥れているが、2006年度以降自治体病院の経営損失は毎年2千億円の赤字であり、2008年には自治体病院の累積負債金が2兆円を突破した。このため、自治体病院の統合、公設民営方式での経営が促進されることとなっている。

さらに、2001年からの新医師臨床研修制度変更で、研修先が希望通りならず、希望病院に集中し、条件不利な地域への派遣源であった大学医学部病院に所属する医師数が減少し、条件不利な地域の医療確保に打ちをけている。条件不利な地域の病院や診療中心の地域医療に従事する医師が不足し、特に小児科、産科、外科が不足し、救急医療に極めて深刻である。日本の医師不足は、1) 医師の絶対数の不足、2) 研修生の必要医師数の不足、3) 地域偏在による不足、4) 診療科に属する医師の供給不足からなっている。

地域医療の再生

条件不利な地域の医療体制は、救急田上クタクターを携った拠点病院を中心に、各地域の小病院と診療所を連携し、介護などの福祉とのネットワークを必要とする必要がある。日本政府は、2009年1月に地域の医療課題の解決に向けて総額3,000億円の「高正目的財が決定する「地域医療再生計画」に基づく対策を発表した。地域医療再生計画で1、地域医療

以区域的活性化为目的的体制的構築を目的に、定量的な目標を定め、病院病床の急性増床の機能分担、急性期病床の充実強化、在宅化、在宅回復の強化、医師・看護師等のコンプライアンスの確保に取組むこととなる。

大会学术交流

日本“地方崩溃”与中山间地域振兴

佐佐木 修

筑波大学名誉教授、宇贡大学・筑波大学国际综合研究所访问

摘要

1. 政权交替—从自民党到民主党

今年8月在议院的选举结果，自民党从在野党的100个席位锐减为119个，民主党从115个席位猛增至208个，这一选举结果在日本139年历史史上实属首次，而且实现了政权交替，LDP由执政党变成了在野党。

地方内閣着手内閣事務。(1)“地方活性化概念和上级指令性决定”。(2)确立“地域主権”。(3)正在进行政务省建设和公共事业的再评价和重新预算的工作。

2. “差别社会”、“地方崩溃”与中山间地域问题

(1) “差别社会”、社会分层的扩大

三个差别—所得、教育、医疗(健康差别)。· 收入层的四分之一(年收入低于200万日元)；出生或死亡三分之一；贫困率达15.5%；在30个OECD国家中名列前茅。

(2) 地域苦与“地方崩溃”

三个崩溃—地域经济、自治体财政、地域社会的崩溃。中山间地域产生生存危机严重，消失的村庄已达到5000个，预计今后还将消失2500个。

(3) 地方自治体的“三个主要课题”

(1)经济的原因：日本型福利化和市场原理主义；(2)政治的原因：自民党的都市政策在崩溃和“国土均衡发展战略”的破产—反对政的扩大；(3)政治理念向地方的转化。

3. 中山间地域的问题与经济振兴政策

(1) 农村地带，特别是中山间地域的问题

(1)解决了的农村共同体复兴(相互扶助、“社会系统”的复兴)；(2)地方自治+城镇社会；(3)提高高龄化地区的福祉和医疗；(4)重建地方财政。

(2) 法人自治的实践和地域相互扶助。

(1)高龄老人与村。(Onsen+cha)；(2)从原来的农村共同体组织发展成相互扶助。

②長野県幸村（Sakae-mura）：高齢社会十部会近頃互助制度下の互助扶助の再次興起。

③川平今后可参考の地域産業発展戦略：

①安曇川谷一町（Ano-cho）：地域資源利用型「地域産物」戦略、引进最新冷感技術加入水産資源の追加産、高品質を生産的「季別化」戦略。

②高知县高岡村（Umaji-mura）：遠途資源在田型「地域産物」戦略、新手段・食品開発和銷售、顧客名單達 35 万人、与最終消費者直接信息沟通战略。

③北海道三川町（Shimokawa-cho）：应对地球温暖化挑战和地域振興相结合、新種 CO2 吸収量大的「植物」干保素被採印在计划「カーボンフットプリント」与 ANA 航空公司、东京都地区共同筹集造林費用（今年、考察了中國甲壳动物）。

日本における「地方崩壊」と中山間地域振興について

原田 武典 (H069 Takoniku)

島根大学名誉教授、研究所顧問

1. 政権交代（自民党から民主党へ）

今年 8 月、衆議院選挙の結果、自民党が 300 議席から 110 議席に激減し、民主党が 115 議席から 308 議席に激増した。この選挙により、100 年の日本憲政史上初め、国議が政権交代を表現させ、鳩山由紀夫内閣が成立した。

鳩山内閣は、中絶金のムダづかいと天下りの根絶、及び地域主権、の確立を公約を打ち出した。現在、タム建設など公共事業の見直し、予算の組み替えなどが進んでいる。

2. 「格差社会」、「地方崩壊」と中山間地域の課題

(1) 「格差社会」、社会的格差の蔓延

①「格差」の拡大：所得、教育、医療（健康格差）、前年恒務の富年所得者の 1.4 は年収 200 万円以下、若手起産業者が 1/3、貧困率 15.7%、LDC 加盟 20 国中 14 位。

(2) 地域間格差と「地方崩壊」

①「地方崩壊」：地域経済、自治体財政、地域社会の崩壊、中山間地域で社会政策に生活困難が上出し、高齢した農村集落に既に 5000 戸、今後 2000 等の削減予測。

(3) 地方崩壊の「三つの要因」

①経済的要因：日本の国際化と市場原理主義、②政治的要因：自民党の都市政策化、戦略を「国土の均衡ある発展」の放棄、③政策的要因：財政赤字の地方への転化。

3. 中山間地域の課題と経済振興政策

(1) 農村部、特に中山間地域の課題

①崩壊した農村共同体の再興（相互扶助、「社会システム」の再編）、②就業・所得確保の増進、③高齢化地域の福祉・医療充実、④地方財政の再建。

(2) 実践的仕農自給と地域相互扶助:

上高知基人町町 (Utsunusi - town): 昔からの農村共同体による相互扶助を活用

の長野基人村 (Sakai - mura): 上下秋葉まへんが「制度による相互扶助の再興」

(3) 今後の参考となる3つの地域産業発展戦略

上高知基人町 (Utsunusi - town): 地域資源活用型の「地域ブランド」戦略、最新冷凍技術の導入による水産資源の付加価値化、高品質和牛生産の「差別化」戦略。

上高知基馬路村 (Utsunusi - mura): 地産食糧活用型の地域ブランド戦略、四季の加工商品開発と販売、顧客名簿35万人、最終消費者と直結した情報戦略。

上高知下川町 (Utsunusi - town): 地球温暖化対策と地域振興の結合、自治体の規模が大きい種、の品種、カーボンプレーメンション、新発会社AVX型東京都市スモを標榜、地域住民を農産、自治体、自治体農産部は省から視察があった。

绿洲边缘移民区土地退化防治的产业带动模式研究

宋乃平^{1,2}

1. 中国林业生态系恢复与重建首席科学家曹郁都重点实验室(宁夏大学西部生态研究中心) 摘要

绿洲—荒漠交错带是一个典型的生态过渡带(Ecotone),宁夏在边建设了多处移民区,在绿洲南部干旱地区人口密集区,因此,绿洲边缘移民区土地退化防治对于本区的移民区可持续发展经济生态安全至关重要,国内外在土地退化防治方面创建了多种多样的模式,主要以政府和社会(基金会)筹资的公共产品提供式的防治模式为主。本研究基于宁夏宁东园艺村生态带动土地退化防治的自发型模式总结经验和完善,本研究在中国—全球环境基金(GPEF)项目的支持下,对位于宁夏平原向盐碱的永宁园艺村进行了村域、农户、产业的调查和土壤分析,主要分析农户、最终肥料、改良土壤等的取得分析,在此基础上,运用生态经济学、循环经济理论对园艺村土地退化防治的固原产业—酿酒葡萄—产业带动模式进行了深入研究,结果表明:(1)园艺村地处大城上(古渠,约50km)边缘的市场辐射区,周边有三泉农场葡萄种植户的示范和酿酒企业的带动,移民有产业转移,适应当地生产条件的要求,修建村口建设宁夏带来了良好的葡萄酒生产技术,产业项目和科技项目带来了资金和技术,在这里建立了适合本地气候条件和区位优势的特色产业、酿酒葡萄产业。(2)高收益的葡萄和酿酒葡萄产业带动了农户对土地改良、肥料的投资,葡萄产业形成了:作物种植—秸秆还田—循环经济—投资性防治模式;酿酒葡萄产业形成了:种植葡萄—葡萄—在村无改土,土地产出显著提高进一步带动土壤改良和土地保护—土地退化防治模式。(3)取得分析显示:农户用于土地改良的菌菇肥料、河滩淤泥的有机质、台架、水冲泥、全磷、硫酸钾等养分明显高于原始荒漠地表土,尤其是菌菇废料更为显著,但是硫酸肥料的全磷含量高,主要是可水溶性的磷酸钙,虽然引起盐碱化的可能性不大,但比过去是比上

向上改良は土壌有機質層が腐敗促進作用を抑制する。葡萄种植は改良土壌 60cm 以上の耕作層方面起到了显著的作用。种植 2、5、8 年的葡萄地比种植 2、5、10 年的农作物田块在改良土壤方面的效果更为显著。(4) 不同作物多样的产业形成了有利于土地退化防治的土壤利用空间模式。土壤较为贫瘠地用于种植和农作物。土壤较好的地用于种植酿酒葡萄。目前计划用于建造葡萄园前的建设。冲沟用于灌溉和洪水排水。在地块之间栽植香茅木防护林等。总之，构建在生态经济和循环经济基础上的高收益产业带动土地退化防治，就能够使农民有投入退化土壤改良的财力，也有改良的能力。

オアシス周辺移民区における土地退化防止のための産業形成モデルに関する研究

朱乃宁

1 西北退化生態システムの回復と再建教育部重点実験室 2 寧夏大学西部地域研究所

オアシスは荒漠地域の交通地帯は典型的な脆弱地帯 (Ecotone) であり、寧夏回族自治区ではその如何に移民区をつくることにより、南部丘陵地帯における人口を集中させる圧力を緩和させている。そのため、オアシス周辺移民区の土地退化防止は、その地域の移民の長期生存を思ひオアシスの生態安全にとって最も重要なことである。国内外において、土地退化防止の方面で注目を集めるモデルが創建されているが、そのほとんどが政府と社会(基金)による公共財供給方式という閉じたモデルを主体としている。本論文は研究した寧夏水車基調農村の産業形成土地退化防止の自発型モデルが従来と異なる能動的な方法があると思われる。本研究は、中国「全球環境基金」プロジェクトの支援の下、寧夏平原の西に位置している水車基調農村を対象とし、村、農家、企業の間を回り、主に生産原料、重要な中間産品、最終的な廃棄物、土壌改良などの見本を取って分析した。この基礎的な分析に加えて、生態経済学、循環経済理論を利用し、開農村の土地退化防止のためのキノコ産業、醸造葡萄酒業の形成モデルを深く研究した。その結果、(1) 開農村は人口密度(総人口密度)距離が 30 km) 周辺の市場経済圏に位置し、開農村は寧夏自治区農場の前衛地帯経済体のモデルと醸造企業があり、移民たちにも産業を移住し現地の生産条件に適した開農村のオアシスがあったこと、また、創業者からオアシス農業技術が導入され、移民プロジェクトと科学プロジェクトから資金と技術が集められたこと、現地で地元の自然条件に適したキノコ産業と醸造葡萄酒産業が確立された。(2) 利益誘導はオアシス産業と醸造葡萄酒産業は、農家の土地改良と保全に対する意識を高めた。つまり、キノコ産業による、甘藷栽培(その茎でキノコを生産)と夏物で補給を記す。この循環経済方式の土地退化防止モデルの形成がもたらされ、醸造葡萄酒産業により、各土村有権地(村による)地改良がなされ、土地の生産性が顕著に高められ、更なる土壌改良と土地保全の土地退化

防止モデルの進展を促したように思われるのである。(3) 基本調査取り分けの結果から、農家が土地改良に用いるキノコの廃棄物、川底の汚泥の有機物、全窒素、硝酸分解産物、即ち腐植質の窒素分が稲一本上の乾重の表土よりかなり高く、特にキノコ栽培の廃棄物が更に高いことが分かった。しかし、キノコの廃棄物は水分が多いが、主には非水溶性の炭酸カルシウムなので、いずれにせよ土壌のアルカリ化が引き起こされる可能性は大きくないが、長期にわたる土地改良に多く使えば、カルシウム積層の形成を加速させることに注目しなければならぬ。葡萄栽培は土壌10cm以上の耕作層の改良に顕著な役割を果たした。栽培して3、5、8年の葡萄畑は、2、5、10年の栽培畑より効果が高い。(4) 同地域の多様な産業によって、土地退化防止に有効な土壌利用モデルが形成された。土質の長い根固き農作物を生産し、砂の多い土質の地で醸造葡萄を栽培して、有利の荒れ地を利用して居住区・キノコ栽培場を建設し、そして水を流すための溝は灌漑と排水の時の排水も利用し、耕作層の間に畜糞と堆肥の施肥を繰り返すものである。つまり、生態経済と循環経済を築き上げる上での高収益産物は、土地退化防止を促進するだけでなく、農民による土地改良を認識する動機を創出し、水による改良能力を維持することを示している。

关于中国西北部农村可持续发展研究——基于彭阳县农村调查结果的研究一

井田隆史 高杜英

宁夏大学・高麗大学同窓会会合研究員

摘要

宁夏回族自治区南部山区的农村作为中国农村中最贫困的地区，这里自然环境和极为脆弱，属于经济及农村型地区。因此，通过植树造林营造一个基本稳定的生态环境，在生产和生活方面尽可能地减少对生态环境的压力，这一点对该地区尤为重要。

彭阳县1983年建设时是西部地区中最贫困的地区，也是这个贫困的彭阳县。经过长期的努力，正值国家2000年开始的退耕还林政策的实施的东风，取得了巨大的成绩，其造林成果在全国受到了很高的评价。针对由于退耕还林造成的耕地减少的问题，彭阳县努力进行基本农田建设，促进了本地区粮食生产。同时，积极开展非粮作物生产，大力发展养殖业，发展畜牧业等，并以高度有效地利用土地为目标，开展人工植黄菜、香菇等设施农业，努力追求还林成果。通过对种植生态林（杏树、核桃树、花椒树）增加农民的收入。

另一方面，彭阳县以行政手段实施生态移民和劳务输出项目，在利用本地区资源稳定当地农民生活的同时，将剩余的一部分农民以生态移民的方式转移出去，为了实施以非还林政策而剩余下来的劳动力，利用劳务输出的方式每年向沿海地区及其它各地输送大批劳动力。

彭阳县可持续发展的基础是生态林和经济林的成活和成林。在彭阳县，即使是生态林生长良好，能够长成育大木材的树种所占的比例也很低，灌木和野生木树种的比例却很高。因此，

对退耕还林建设成效的考查成功及对此项目的长期评价可另当别论,但问题是人们期待和能够维持和改善生态环境的森林是否可以形成?今后应该怎么做?

本论文的课题是在村民层面上,围绕彭阳县所采用的各种做法是否对可持续发展有关的议题展开论证的。

研究方法

从彭阳县内3个地貌类型不同(地域性)的区域中选择6个村庄,每个村选取10户农户对象进行了问卷式调查,并由指定的负责人介绍了村子的整体情况,还听取了县有关政府部门的情况介绍,在全面整理调查结果的基础上展开反思研究,实施调查时间:2008年8月-10月;2009年9月。

中国西北部農村の持続可能な発展に関する研究——彭陽県の集落

調査結果に基づく考察一

月田隆史・高桂英

島根大学・奈良大学国際共同研究所

課題

中国回族自治省の省都回区農村は、中国農村の中でも大変貧しい地域として知られているが、同時に生態環境がきわめて脆弱で、経済開発が困難な地域でもある。したがって、森林植栽など基本となる安定した生態環境を作り出すこと、生産・生活のあり方において環境負荷を出来るだけ軽減することを極めて重要な地域である。

彭陽県は、1982年の立憲当初はこの省都回区の中でも最も貧しい農村であった。その彭陽県が、長年の努力で2000年から始まる退耕還林事業において大きな実績を挙げ、造林の成果は全国的にも高い評価を受けるまでになった。また、退耕還林に伴う耕地の減少に対しては、基本農田建設などにより地域内の食料生産量の確保を確実に進めた。更に退耕地の耕作地帯を活かした草産業の育成、それを活用した養殖業(畜・牛・羊・豚)振興の取り組み、土地利用の高度化を目指した施設農業(ハウス野菜、家庭キノコ栽培)、退耕還林そのものの成果を生かした林業(生態経済林からの食・薬材・山椒等の収穫)などによる収入増加策にも熱心に取り組みできたのである。

しかし彭陽県は、一方で、生態移民や労働輸出に県行政として力を入れている。地域内食糧の需給による定住策を遂行して余剰人口は生態移民による学舎移民を推進し、退耕還林に伴い発生する余剰労働力の社労対策については、地元での社労の場の確保をとりわける、労働輸出(手稼ぎ)として毎年確実に沿岸部など各地へ労働力を大量に送り出して来たのである。

彭陽県の持続可能な発展の基盤は、生態林や生態経済林が成林し、成熟した森林によって定着するかどうなのである。彭陽県の場合、生態林とされているものであっても、高木は

産出樹種の異なる割合は低く、漸入や野生の尖刺などが多いウエイトを行っている。

したがって、運動管理による植林設備の成功はその長期的計画に別である。生態環境の維持・改善に効果が見込めるような森林が成立するのかが重要で、今後の長期的な取組を知りたい点ばかりであるといえる。

本論文の課題は、影響具の多岐を取り組みが持続可能な発展につながるのかどうか、上と下の集落レベルにおいて検討することである。

方法

影響具内の性格が異なる地域性を持った3地区から、合計8集落、各10戸の農家を対象に実施した聞き取り調査。村の責任者を対象にし各集落の概要についての聞き取り調査、及び早稲行政の各担当者からの聞き取り調査などの結果を整理集計したものを基に、本課題を検討する。調査は、2008年5月、11月及び2009年9月に実施した。

施設番茄砂培营养液配方筛选试验

李建设 卜燕燕

宁夏大学

关键词：番茄，砂培，三因素五水平，营养液配方，回归方程

摘要

应用三因素五水平回归旋轮组合设计，采用砂培盆栽，在日光温室研究了营养液配方中 $\text{NO}_3\text{-N}$ 、 P 、 K^+ 三种元素对番茄产量的影响，得到了三者之间的回归方程，被回归方程分析。结果表明：三个元素对番茄产量的影响大小顺序是： $\text{K}^+>\text{NO}_3\text{-N}>\text{P}$ ；通过对方程的解算，得到番茄产量与浓度的交互效应比较显著，说明在一定的范围内氮肥和磷肥比单施效果好。通过计算机模拟寻优，番茄达到单株最高产量 $>123.13\text{g}$ 时，营养液中 $\text{NO}_3\text{-N}$ 、 P 、 K^+ 三个因素的最佳配比为：3.5、0.9和4.0 mmol L^{-1} 。

砂地におけるハウストマト栽培用の栄養液調合に関する選択試験

李建设 卜燕燕

宁夏大学

キーワード：トマト、砂地栽培、三つの要素と上のレベル、栄養液指図書、回归方程

要旨

三つの元素と上のレベルを用いた組合設計によって、砂地で鉢栽培をした、ハウス内で栄養液調合の中の $\text{NO}_3\text{-N}$ 、 P 、 K^+ という三種の元素によるトマトの生産量への影響を研究し、その中から、三要素の回归方程式を得て分析した。結果は、トマトの生産量への影響が大きいのは $\text{K}^+>\text{NO}_3\text{-N}>\text{P}$ の順序で、方程式を演算し分析すると、トマトに対する栄養と濃度の交互効果が大きいことが、一定の範囲内では窒素肥料と磷肥料を混合した方が

一種組合の施肥より効果が低いということである。また、コンヒートク・シミュレーションにより最良の組み合わせを求めると、トマト一本の最高生産量が2123.13gである時に、栄養液中のNO₃⁻-N、P、Kとこれらの元素の最も適当な割合は7.5、0.9和4.0mmol/Lとなるという。

从社会资本构成的主要因素看中国农村社会的变化—以中国宁夏银川市近郊农村为例—

伊藤敦久¹、王金²、田代³、东小操²、曹志杰²

1. 岛根大学生物資源科学部、2. 宁夏大学经济管理学院、3. 宁夏大学西部发展中心

摘要

前言

中国农村的现代化发展起源于1978年开始的改革开放和实施生产责任制包产。上世纪80年代，沿海地区和大城市的发展逐渐波及到周边的农村。2000年后政府实施的大开发政策起到了引导作用。内陆地区的农村也发生了较大的变化，本报告根据对变化中的中国农村结构的考察，特别是对限定其社会变化的人的意识方面产生的主要因素的研究，研究其今后的发展方式。

课题与方法

课题：研究宁夏都市近郊农村的事例，从农村中代表着社会变化的民众意识，探讨研究其变化背后存在的思想意识方向的主要因素。方法的内容：找出由【人与人的羁绊、信赖、规范】(1)所形成的社会资本，探讨其构成要素。使用的是2008年对农村互助、互助、互助、传统祭祀的玩赏和对当地民众意识等方面进行现场回答式调查所获得的素材。

研究

从现场的回答式调查的结果来看，互助互助在一些地方有减少现象，可以看出有政策引导的迹象。总体上是维持着传统意识。在共同做活方面，可以看出从无偿或换工的方式到用金钱雇用等经济诱惑手段的变化。以及对劳动的认识存在老年层的变化。在传统祭祀活动方面，除传统三日、宗教祭祀以外的民众自发举行的庆祝活动和祭祀活动比以前减少了，也从自发参加逐渐变为经济诱惑手段邀请参加的状态。

意识调查方面，虽然数量较少，但得到了富有意义的结果。当地人的(1)中，意识，特别是男女性和年龄层很明确。女性一般与地域关系密切(换言之，被束缚)，与自己的朋友不多，与当地人的交流也不太多。而男性由于与外部的交往多，可以看出他们与当地有一些疏远感。年龄层以40岁为界，年轻人对外地或远信信任，不参加当地的活动，也不担任。对分派的任务有奉献精神，有个人主义化倾向。就个人价值观，整体都是希望获得自己和家庭利益。年轻人认为努力实现现在的目标和将来的愿望是非常重要的。年轻层关系构成的社

会堂の要約の表現形態有很大的差异，实质上是个客观的差异。

結論

农村的发展阶段，两国相似点很多，但在对村庄的归属意识和与主体的关系上存在不同。在日本，对村庄的归属意识和规范是很强烈的，60年代农村现代化发展提高了农村生产力和农民的生活水平。另一方面，人口的流动和农业外就业使得农村发生本质的变化，这种力量大，导致了现在的人口老龄化高龄化和农村衰退。观察中国如今的农村变化，三分共有的地区来看，个人、家庭所重视的价值观要比团结互助意识强烈。可以认为，由于促进了劳动力的转移，农业外就业十分盛行，这将加速农村传统组织的崩溃，引起激烈的人口流动的可能性大。

ソーシャル・キャピタル構成要因からみた中国農村社会の変化に関する考察中国寧夏銀川市近郊農村の事例から一

伊藤勝久¹⁾・王旭金²⁾・王國慶³⁾・董小強⁴⁾・曹其波⁵⁾

¹⁾ 筑波大学大学院理学部、²⁾ 寧夏大学経済管理学院、³⁾ 寧夏大学西語学院中六

はじめに

中国農村の現代化は1978年から始まる改革開放と家庭責任制がその遠因であり、80年代から始まる沿海部大都市の発展によるその周辺農村からの徐々に波及し、2000年からの政府大規模政策をきっかけとして内陸部の農村にも変化が及んできたと考えられる。本報告で注目化する農村社会の構造を表現する内的要因の考察から今後の発展方向を検討する。

課題と方法

課題として、寧夏都市近郊農村の事例から、社会の変化を特徴づける住民意識を明らかにし、その背後に存在する内的要因を検討することである。方法的視点としては、「村民の繋がれ・信頼・規範」(1)により形成されるソーシャル・キャピタルを抽出しその構成要因を検討する。今回のデータは、2003年に実施した現地セミナーによる農村の相互扶助・共同作業・伝統行事の現況と当該村民に対する意識調査である。

考察

現地セミナーの結果からは、相互扶助の一部が弱体化し、また政策的導入がみられるが、共同作業をほぼ維持している。共同作業は組織上は隣里から全数で参加、経済的誘因の付帯によって成立し、賞罰に対する世代間で考え方の変化が観察される。伝統行事は年中行事・宗教的事以外の集団的行事・祭事はもともと少なく、自発的参加から経済的誘因によって成立している状態である。

意識調査では、データ数が少ない興味深い結果が得られた。土地版(村区)意識で

は、古くは男女差、世代差が明確になった。女性は概して地域に密着（束縛されて）しており、同世代の知人は少なく、地域の人々とのコミュニケーションも少ない。一方男性は農村外での付き合いが多くなったため、地域者の疎外感が見受けられる。世代別には10歳を境に分けると、若齢者では地域の住民以外の知知感が低く、また「地域活動・同籍には参加せず、農閑期にも不感のみられ、個人主義化がみられる。20個人の価値観としては全体に自己・家族の利益を軽視、若齢者には現在の要望や将来への希望を実現する努力がより重要であるよりである。若世代別にはボランティア・キャリアを構築する要因が表出強弱が大きく異なり、これを価値観の差となっている。

結論

農村の発展段階は自由で類似点が多いが、村に対する帰属意識や主体的関わりには差があると考えられる。日本では村に対する帰属意識や規範がより強いが、60年代からの農業近代化促進は生産力と生活水準の向上をもたらした。一方で人口流出と農外就業が農村を衰敗させ大河による結集軸を失い、現在の過疎・高齢化と衰退に至った。中国の今の農村の要旨をみると、少なくとも調査地では個人・家族重視の価値観が地域閉鎖より強く現れており、労働力移出を促進し農外就業も盛んになっているため、農村の伝統的組織の存続をより速め、急激な人口変動が訪れる可能性があると考えられる。

(1) Putnam (1993)による social capital の定義を採用した。

发达国家财政支农政策及对我国条件不利地区地域振兴与可持续发展的启示

石忠宇

宁夏大学政法学院

关键词 公共政策；三农问题；国际经验；条件不利地区；地域振兴与可持续发展

摘要

条件不利地区地域振兴与可持续发展需要多途径、多方面的合力推进。而公共财政政策的及时调整与跟进则是政府有力杠杆和助推器。条件不利地区地域振兴与可持续发展的核心、瓶颈、关键是这些地区的“三农”问题。欧美日等一帮发达国家财政支农采取了许多有效的做法，其取得的经验值得我们在促进条件不利地区地域振兴与可持续发展实践中借鉴。本文从补贴政策、支持政策、立法支持、援助政策、社会保障政策等公共政策视角，梳理欧美日等一帮发达国家财政支农采取的有效做法和有益经验，立足中国国情，探索其对我国农村制度创新、促进条件不利地区地域振兴与可持续发展的启示：把农业政策的重心从保护与到支持上，继续加大对农业的投入力度；健全农业补贴政策，把间接补贴改为直接补贴；及时调整财政支农政策的目标和手段；提高财政支农效率；增加对农村人力资源开发的财政投入。

加大对农民的教育和技能培训力度；在条件成熟时将社会保障体系向农村全面延伸，通过财政建立健全农村社会保障体系。应灵活运用立法手段，将合理的政策内化为法律制度，建立对农业和农村的长效投入机制。

先進国の農業財政支援政策がわが国の条件不利地域の振興と持続

可能な発展に与える示唆

潘世宇

華夏大学政治学博士

キーワード 公共政策 三農問題 国際経験 条件不利地域 持続可能な発展の戦略
要旨

条件不利地域の振興と持続可能な発展のためには多ルート、多方面からの努力推進が必要であり、公共財政政策の調整と実施がその有力な根拠と推進力である。条件不利地域の振興と持続可能な発展のモデルケース或いは中心視域は「三農」（農民、農業、農村）問題である。欧米や日本のような先進した国では、農業財政支援に関して有効な方法を多くを採明している。その中から得る教訓は、我々の条件不利地域における振興と持続可能な発展を推し進める中で参考に値する。本論文は、補助政策、支持政策、立法支持、後援政策、社会保障政策などの公共政策の観点から、欧米、日本などの先進した国の農業財政支援のために採用された有効な方法と有益な経験を概観し、中国の国情に基いた農村制度の更新や条件不利地域の振興、持続可能な発展のための示唆を提示した。その示唆は以下のものである。①農業政策の重点を保護から支持に移し、農業への投入を引き続き増やして専門的補助政策を健全化し、直接補助を間接補助に変える。②農業財政支援の目標と手段を調整し、農業財政支援の効率を高める。③農村人材育成への財政投入を増やし、農民の教育と技術養成に力を入れる。④社会保障体系を段階的に農村全体に広め、財政手段を通して、農村の社会保障体系を築き上げ、健全にする。⑤立法手段を重視して運用し、合理的な政策を法制度化し、農業と農村に長期的効果による投入制度を確立する。

关于宁夏回族自治区绵羊饲养方法的建议

白俊文¹ 关乃平²

1 高原大学动物资源科学部 农业生产学科；2 宁夏大学 西北退化生态系统恢复与重建教育部重点实验室

【目的】本课题组研究人员对宁夏 2003 年以来实施封山禁牧政策后，在绵羊饲养上存在的一些问题进行了调查，探讨了改善对策。为此，于 2008 年 3 月、8 月和 2009 年 9 月对盐池县境内的绵羊养殖户进行了问卷式调查，并与盐池县畜牧局相关负责人、宁夏农林科学院的

研究员、宁夏农林科学院工作站研究员及宁夏大学农学院老师进行了座谈，收集了丰富的资料。有关2008年3月和8月的调查结果已于2008年12月5-7日在岛根大学召开的日本学术振兴会“中国学术基础建设事业”日中国际学术讨论会上进行了口头发表。本次，根据2009年9月实施的调查面谈内容，进一步探讨了提高宁夏绵羊生产的对策问题。

【方法】2009年9月18日，参观了盐池滩羊繁育有限公司的饲养设施，并从当地县畜牧局黄玉娟站长那里了解了该县绵羊生产概况，索取了有关本课题的资料。2009年18-19日调查了盐池县5家绵羊饲养户，考察了绵羊的饲养设施并进行了问答式调查。包括本谈，我们已对饲养规模不同的17户绵羊饲养农家进行了调查。主要内容有：饲养羊头数、饲养品种、交配计划、饲养形式、5月出栏头数、5月出栏价格、10月出栏头数、10月出栏价格、饲料地耕作体系、管理肥料的情况、前借地面积、借地费、养殖场建设情况、对封山禁牧的意见、牧目前所需要的物品和辅助品、想了解饲养方面存在的问题。2009年9月21日与宁夏农林科学院李毅康研究员、宁夏大学农学院老师呼朝教授、赵占鹏教授、周长春教授进行了座谈，就宁夏绵羊生产的研究认识交换了意见。

【结果】在探讨了夏绵羊饲养方法的改善对策方面获得了以下几点新的见解：1) 盐池县属于滩羊保护区，禁止滩羊杂交。2) 以玉米青饲料为主的完全混合饲料（TMR）喂养，滩羊一年可分两次出栏或两年二次。3) 小尾寒羊和滩羊杂交的强势效果不佳。因此，正在探讨采用欧洲种的Texel（原产荷兰）与滩羊杂交。4) 封山禁牧，封山育林减少了沙尘天气的发生，但同时也减少了夏秋季绵羊所食的牧草的产量。5) 希望得到加大羊棚建设费用及购买饲料机械（饲喂饲料用的机器）费用补贴的农家增多。6) 羊由于从里山移具于逐河向山背部分散饲养方向转变。

【结论】根据历次的调查结果，提出以下饲养方法：

- 1) 分别按灌溉农业区和旱作农业区情况进行绵羊生产
- 2) 建立全年提供以玉米青饲料为主的完全混合饲料饲养绵羊的体系
- 3) 建立完全混合饲料（TMR）加工、运输、配给中心
- 4) 建立以高价养完全混合饲料（TMR）喂养滩羊一年可分两次出栏的体系
- 5) 建立Texel（原产荷兰）与滩羊杂交的早期出栏体系
- 6) 增加纤维颗粒饲料并配合完全混合饲料的饲养

宁夏回族自治区におけるメンヨウ飼養法についての提言

1 渡邊 一（ホシノ）

1 島根大学生物資源科学部 農畜生産学系

2 宁夏大学 西北退化生態システム回復と再生教育部重点实验室

【目的】筆者らは、宁夏において2003年に施行された封山禁牧政策下におけるメン

メウ飼養上の課題について調査し、その改善策を検討している。2006年3月、5月および2009年5月に鹿嶋県内のメウ飼養農家からの聞き取り調査を実施した。また、鹿嶋県高次畜産官、京夏農林科学院研究員、奉夏農業庁畜牧工作所研究員、京夏農村庁畜産工務技術研究センター研究員および東京大学農学系教育と産談し、有益な資料の提供を受けた。2008年3月および8月に調査で得られた知見に基づいて、2008年12月5～7日に奈良大学で開催された日本学生振興会「アジア・アフリカ学術基盤形成事業、日印国際学生セミナー」において口頭発表した。さらに、2009年9月に実施した調査・産談内容に基づき、畜産におけるメウ生産成績の向上策について検討した。

【方法】2009年9月18日に塩産畜産教育有限公司の飼養施設を見学し、塩産畜産教育 黄土村畜産メウ場内メウ生産販売および課題についての資料提供を受けた。2009年9月18～19日に塩産県のメウ飼養農家5戸を訪問し、メウ飼養施設の見学および聞き取り調査を行った。今回の調査を含め、飼養規模の異なる延べ17戸のメウ飼養農家に対し、①飼養頭数、②飼養品種、③飼養計画、④飼養形態、⑤山産頭数、⑥山産価格、⑦給与体系、⑧飼養期間、⑨飼養期間、⑩種別作付体系、⑪堆肥利用状況、⑫管理面積・管理地、⑬疾病の発生、⑭山産改善に対する意見、⑮現在必要とする物品・油助、⑯飼養上の苦難についてインタビューを行った。2009年9月21日に京夏農林科学院 幸箱庚研究員、京夏大学農学系教育（門内教授、孫占棟教授、周正香副教授）と面談し、畜産のメウ生産について研究するべき課題について意見交換をおこなった。

【結果】畜産におけるメウ飼養方法の改善策を検討するうえで、以下の新規知見を得た。① 鹿嶋県は養羊保護区にあり、灘羊の雜種生産は禁止されている。② コロンサイ種を基礎とした完全混合飼料（3BR）給与による、灘羊の年2回（春、秋）分娩が可能となった。③ 水尾寒羊と灘羊交雑による雜種強勢の効果は少なく、単に、コロンサイ種の Texel（イランタ原産）と灘羊系雜種の生産が検討されている。④ 山産改良・山産育肉による産肉量の増大は減少したが、夏・秋季にメウへの給与するイネ科及び大豆の量が減少した。⑤ 羊舎拡張、建設費用および飼料の粉砕機（細切機）購入の補助を望む農家が多かった。⑥ 羊舎の産肉販売は、技術者の部分肉へと変更する途にある。

【結論】調査の調査結果と併し、以下の飼養法を提案したい。

- ① 地別別：（鹿嶋農業地域、大塚農業地域）のメウ生産分業
- ② 肥育メウウへの「ウチコロサイ」種を給与体系の構築
- ③ 羊舎の飼養・配給センターの生産地域内設置
- ④ 完全混合3BR給与による灘羊の年2回生産体系の構築
- ⑤ 単種・灘羊系種の高産肉体系の構築
- ⑥ 羊舎への肉用種別飼料の現需普及および3BRへの配合

基于资金与效率的宁夏经济发展模式研究

何凤然, 肖娟东

宁夏大学经济管理学院

关键词 投资, 资金, 经济效率, 宁夏

摘要

中共十六大报告提出了全面建设小康社会的奋斗目标, 这是国家经济发展的战略部署和各省、市、自治区的共同奋斗目标。1998 年以来宁夏进入了投资拉动型经济增长时期, 按此发展模式, 宁夏能否完成十六大报告所提出的战略目标以及宁夏经济发展的正确路何在是十分值得研究的重要议题。因此本文从资金供给与经济效益两方面入手, 分析宁夏经济发展中存在的问题, 并给出了宁夏资金瓶颈问题的解决方法、提高经济效益的途径和给予发展的正确路。

資金と効率に基づく寧夏經濟發展モデルに関する研究

何鳳然, 肖娟東

寧夏大學 經濟管理學院

キーワード: 投資 資金 經濟效率 寧夏

要旨

中国共産党十六大報告において、全面的に小康社会を建設するとの目標を設定した。これは国家經濟發展の戰略方針と各省、市、自治区が共同で目標とする目標である。宁夏は1998年から投資牽引型の經濟成長期に入ったが、この發展モデルにより寧夏が第一七〇大会の目標を達成できるかどうか、また、寧夏の經濟發展の道を探ること、研究に値する非常に重要な課題である。本論では資金の供給と經濟効率を軸として、寧夏の經濟發展に存在している問題を分析し、寧夏の資金問題のボトルネックとなる問題を解決する方法、經濟効率をアップさせる方法及び經濟發展の道を探る。

大渡河上游的水电、旅游开发与区域可持续发展道路选择

肖娟东

西南大学历史文化学院

摘要

大渡河上游流域是中国西南横断山脉地区的重要组成部分, 地广人稀, 交通不便, 基础设施落后, 经济社会发展水平较低。由于典型的高山峡谷地形, 以及自古以来的重要的人群流动通道和多元文化接触、交融纽带, 大渡河上游流域不但具有得天独厚的水电资源, 而且自然旅游资源和人文旅游资源都较为富集。这十余年来, 流域内各县都把水电开发和旅游

开发作为区域经济发展的主要支撑点,大力开展水电建设和旅游开发,但也要随之开发中
系列生态、环境、经济、社会和文化问题,影响到区域社会的可持续发展。

大渡河上流域における水力発電、観光開発と地域の持続可能な発展 への道の選択

曾現江

西南大学 歴史文化学部

要旨

大渡河の上流域は中国の西南横断山脉地区における重要な部分である。土地が広大で人口が少なく、交通が不便なインフラ整備が遅れており、経済・社会発展のレベルが比較的低い、典型的な高山峡谷型の地形であり、また古くから各民族の重要な移動経路となる。多文化が複雑に融合する地域でもあった。大渡河の上流域は恵まれた水力発電資源を計っているがけでなく、自然観光資源や文化観光資源も豊富である。ここ十年來、大渡河流域の各州政府は水力発電と観光開発を地域経済発展の主軸として、水力発電の建設と観光開発事業に力を入れているが、それに伴い、生態、環境、経済、社会、文化などの様々な問題を引き起こしており、地域社会の持続可能な発展に直接的な影響を及ぼしている。

宁夏沿黄城市带发展战略与模式研究——黄河金岸建设的若干重要 问题分析

米文宇¹、李映燕¹

1. 宁夏大学资源环境学院 2. 西北生态系系统恢复与重建省部级重点实验室
关键词 宁夏沿黄城市带, 黄河金岸, 战略, 模式

摘要

城市带通过区域内的城市整合,强化了城市间的功能互补和深度合作,能扩大发展空间,为工业区、信息提供高效率的环境,挖掘区域经济更为强大的发展功能,从而加快整个区域和国家的经济发展。基于此,文章对宁夏沿黄城市带的现状进行了SWOT分析,讨论了发展的重点和目前发展模式,并提出了加快宁夏沿黄城市带发展的政策建议。

寧夏黃河沿川都市ベルト地帯の發展戰略とモデルについての研究

——黃河金岸建設の若干重要な問題に関する分析

文 献 著 者 丁 永 進

1. 寧夏大學會神學院 2. 西北退化生態システム回復と再建, 教育部重點實驗室

キーワード: 寧夏黃河沿川都市ベルト地帯 黃河金岸 戰略 モデル

要旨

都市ベルト地帯は地域内の整合(注:都市機能の轉換・統合)により、都市間の機能の相互非空間性より深い協力関係の強化、餘剰地の拡大、工業化・情報化に対する効率的環境の整備、地域経済の更なる強力な發展機能の発露等の利点があり、地域と国家の經濟發展を加速することができる。これに基づいて、本論文では寧夏の黃河沿川都市圏の現状を詳細分析し、發展に関する重要なポイントと空間モデルを確立して、寧夏の黃河沿川都市圏の發展に関する政策に對し提案を行う。

内蒙古自治区荒漠化防治政策的确立与演变

丁 永

内蒙古师范大学历史文化学院

摘要

内蒙古自治区荒漠化防治政策是指内蒙古党委和政府制定的有关防治和管理土地荒漠化的方针、政策。概述、综观内蒙古自治区 50 余年的荒漠化防治政策, 笔者将其内容概括为六个字, 即: “禁、封、限、植、退、建”。“禁”是指禁止开荒, 禁止乱砍滥伐, 禁止乱采乱挖。“封”是指封山、封滩、育林、育草。“限”是指限制牲畜数量, 以保持草畜平衡。“植”是指植树造林, 和植牧草等。“退”是指退耕还林, 退耕还草。“建”是指工程建设, 如兴修水利设施, 修整水平梯田等。其中, 前两类是预防性政策, 后三类是治理性政策。由于受到国内、区内经济、政治大环境的影响, 受到人们对荒漠化问题的认识过程的影响, 它们不可回避, 荒漠化防治政策的出台以及政策的实施力度不一样, 这样就存在一个政策变迁问题。

从不同的角度可以对内蒙古自治区荒漠化防治政策的变迁给出不同的阐释, 本文从政策的性质角度审视内蒙古自治区 50 余年荒漠化防治政策的变迁, 认为在整体上分为三个阶段: 第一阶段, 从 1947 年内蒙古自治区的成立到 1956 年农业社会主义改造基本完成, 是预防为主的治理阶段; 第二阶段, 从 1956 年农业社会主义改造基本完成到 1978 年的十一届三中全会, 是治理为主预防为主阶段; 第三阶段, 从 1978 年的十一届三中全会到现在, 是防治并重阶段。每一阶段内, 政策的中心和力度也不一样, 又可以划分出不同的小阶段。本文以下部分根据“三阶段”论, 客观与主观相结合, 不当之处, 敬请专家指正。

内モンゴル自治区における荒漠化防止政策の確立と変化

于永

内モンゴル師範大学歴史学系

内モンゴル自治区の荒漠化防止政策は、内モンゴル党委員会と政府が別中、各自独自の予防と治理に関する方針、政策、対策のことである。自治区が成立してから30年余りの荒漠化防止政策を総合的に観察すれば、その内容は大抵の支節、即ち「禁、封、限、禁、造、禁」にまとめられることができる。「禁」はなごりの開墾、復墾、長期の禁牧、封山封水、封灘、育林、育草、「限」は家畜の数の制限によって草土家畜のバランスを維持すること、「封」は防林、牧草栽培など、「造」は「遊牧型林」、「遊草」、「建」はフロンティア建設（例えば、木札建設、木牛段々建設など）を指している。その中で右記の「封」は最も力強い政策で、後者の二つは消極的な政策である。国内外の経済と政治という大環境の影響、また、人間が荒漠化世帯を認識するまでに時間がかかった影響を受け、各時期によって、荒漠化防止政策の内容及び政策の実施程度がそれぞれ異なり、政策の変化が存在していることがわかる。

内モンゴル自治区の荒漠化防止政策の變化は、いろいろな観点から探ることができるとは、本論文では、政策の目標の違ひから、内モンゴル自治区の30年余りの荒漠化防止政策の變化を大きく観察し、大きくは二つの段階に分類した。第一段階は、1947年、自治区設立から、1956年の農業社会主義改造が基本的に完成するまでで、これは予防的な、消極的に治理を行っていた段階である。第二段階は、1956年の農業社会主義改造が基本的に完成してから1978年の中国共産党第十回全国代表大会第三次中央委員会全体会議まで、第一段階とは違ひ、主に治理を行って、積極的に予防をする段階である。第三段階は、1978年の中国共産党の十一回三中全会から現在まで、防封と治理を共に重んじる段階である。各段階ごとに、政策の中心と実施程度がそれぞれ異なっているため、その中でもいかなる小さな段階に分れることができる。本論文ではこの二段階を中心に詳しく論述する。

新农村建设中乡村公共生活的兴起与持续发展——基于内蒙古自治区W村的个案研究

于永

内蒙古师范大学历史文化学院

关键词 新农村建设；公共生活；兴起；持续发展

摘要

W村的社区公共组织包括村支两委和三家协会，村支两委的政治化倾向明显。新建立

的三家庙会尚未融入村庄公共生活当中;村庄公共舆论表达的内容主要是村落集体利益和社会公德,表达的主要途径是村民大会和群众议论。乡村精英包括主流精英和非主流精英,主流精英是村庄发展中不可忽视的力量。基于W村个案经验,本文认为新农村建设中的乡村公共生活兴起较为容易,但要实现持续发展就需要公共舆论的不断激励和良性博弈机制的建立。

新农村建設における農村公共生活の出現と持続可能な発展—内モンゴル自治区におけるW村を例として

黄河

内モンゴル師範大学歴史文化学院

キーワード: 新农村建設 公共生活 出現 持続的発展

要旨

W村の社区:一定の地域範囲内に共同する人々によって構成される社会生活の共同体(公共組織は村の「两委」(共產党委員会と村民委員会)と「一の協會」からなっているが、村の「两委」は政治的な傾向が強く、新しく設立された「一の協會」は自治管理システムの中心に入っていない)。村区の世論の内容は主に村集団の利益と社会道徳であるが、その内容を伝えるルートは主に村民大会と民間議論である。村のエリートには主流エリートと非主流エリートがあり、非主流エリートは村の発展において無視できない力である。W村の経験に対する研究から、新农村建設の中での公共生活の出現は容易であるが、持続可能な発展の実現には社区の世論の激しさと良性のチャレンジ精神の確立が必要であると考えられる。

我国の高山移民实践及其研究状况回顾与反思

李文学 朱文

西南大学の歴史文化学院民族学院

摘要

本文系统地总结并回顾了我国目前的山地移民政策、实践及其研究状况,在此基础上对目前山地移民的实践进行了反思,指出了存在的重大问题,并在高山移民的相关研究进行综述的基础上,系统地深化该领域的概念,提出了该问题的研究框架。

わが国における高山移民の実践とその研究状況の振り返りと反省 について

張文宇 張文

西南大学歴史文学学院民族学系

要旨

本論文では、現在におけるわが国の高山移民政策の実践とその研究状況を詳しくまとめ、振り返った。その上で、現在の高山移民政策とその実践について反省し、その中いくつかの問題点を示した。そして、高山移民に関する研究を論述する上で、この研究分野における概念を系統的に整理させ、問題点を解決する研究枠を提出した。

宁夏相对资源承载力分析

张小盟

宁夏大学经济管理学院

关键字 相对资源承载力, 自然资源, 经济资源, 可持续发展

摘要

相对资源承载力是区别于传统资源承载力的一种计算区域资源承载力的方法。本文采用该方法,以全国31个多数地区为对照的相对资源承载力进行了分析。研究表明,1981—2004年,宁夏地区综合相对资源承载力仍处于富余状态,相对经济资源承载力则处于超载状态,相对自然资源承载力处于富余状态,对宁夏综合相对资源承载力的贡献起主要作用。造成以超载的根本原因是宁夏非资源型的经济能力限制了该地区的综合发展,生产力和产业结构的不合理导致的资源消耗型经济发展模式,加之交通不便等先天经济自然条件等因素的限制使得宁夏人口众多,自然资源相对丰裕优势没有得到充分发挥。调整产业结构,转变经济模式,从而提升宁夏综合相对资源承载力,对宁夏实现人口、资源、环境的可持续发展具有重大意义。

宁夏の相对資源扶養力についての分析

張小盟 李瑛

寧夏大學經濟管理學院

キーワード: 相对資源扶養力, 自然資源, 經濟資源, 可持續的發展

要旨

相对資源扶養力とは伝統的資源扶養力とは異なる、地域資源の扶養力を計算する

の方法である。本論文では、この相対資源賦養力の方法を用い、中国全国を参照区として、寧夏の相対資源賦養力を分析した。結果として、1961年から2004年までの寧夏の総合的相対資源賦養力は豊富であるという状態であったが、相対経済資源は著しく過剰供給であった。相対自然資源賦養力が豊富であるという状態は、寧夏の総合的な相対資源賦養力に対して大きく貢献していた。これは寧夏の経済能力が非常に弱く、それによって地域の総合発展が制約されていたのが原因であり、また、生産力構成と産業構造の不合理によって、資源多消費型の経済発展モデルが作り出されたためでもある。そして、交通が不便であるなどの劣悪な経済自然条件の制約により、別の地域に人口が少なく、自然資源の相対余裕があるという寧夏の優位性が十分に発揮されなかった。産業構造を調整し、経済成長モデルを転換して、寧夏の総合的な相対資源賦養力を上昇させることは、寧夏が人口、資源、環境の持続可能な発展を実現させるために重要な意義を持っている。

我区 WUA 发展的难题与中日合作研发的可行性探索

F 凡金¹ 王燕² 渠建宇²

1宁夏大学经济管理学院 2自治区农发办

摘要

笔者在今年承担宁夏世界银行 WUA 项目组织与实施管理的调研过程中, 遇到一个普遍存在且亟待解决的实际难题: 即农业节水灌溉技术方都认同 WUA (农民用水协会) 是不可或缺而农业节水组织载体, 但包括 WUA 自身在内的各利益相关者又都对 WUA 管理经费来源, 难以达成共识。农民用水户抱怨“节水省不了费”以及“钱都在村, 水费不扣”同时水面节约的开支远远赶不上因水管上堵塞造成的灌溉水费开支也是不幸的事实。1982年, 宁夏曾在吴川干渠试行计量收费, 当时每方灌溉水费仅为 1 分。而现在平价水费每方灌溉水费平均已达到了 3 分 5 厘, 26 年间涨了 70 倍之多。这既形成了水权转换的契机, 也导致农民看谁现象开始产生, 应当引起警觉。宁夏灌区的农权转换, 与谁规定新一轮农业节水指标, 必须从农业节水中等量置换, 03 年时每方转换费用约 3 元的目前已涨到 5 元, 是灌溉水价的 200 多倍, 由此而产生农业用水转换成本或净收益, 其本质是经济学意义的机会成本。这种机会成本如何由农民用水户得以分享很值得研究, 本文探讨这方面中日合作研发的可行性, 认为, 日本毕竟有着丰富的大农户经营可资借鉴。

宁夏回族自治区における WUA 発展の難題と中日共同研究の実現性の模索

F 凡金¹ 王燕² 渠建宇²

1宁夏大学経済管理学院 2自治区農業發展辦公室

要旨

筆者は今担当している寧夏世界銀行 404 プロジェクト協議と実施管理の調査研究の過程で、普遍的な早急な解決が望まれる現実的難問にぶつかってきた。その難問とは即ち農業従事者の利益に関する問題である。宁夏（農民用水協会）が不可欠な節水組織（ユーザー）ということには異論なきものの、ユーザー自体を含めて各利害関係者は、その管理経費を先払いするのは苦勞し、経営を維持することが困難になっている。水を使う農民も「節水してお金にはならない」「他のものは補填されるのに、水代は補填されない」という苦情が頻りに出る。節水によって節減された金額が、水道代の値上げによる灌漑用水の直増に全く追いつかないということも事実である。1982年、宁夏はいくつかの大型の幹線水路において試験的に水道代の計量徴金を行っているが、当時の上立方メートルあたりの水道代は約4元5角程度であった。しかし現在の灌漑用水費は平均で分5厘に下がっており、10年間で約半以上に押し下がっている。これはずべて未利用の転換の初志と対立するだけでなく、農民が灌漑を放棄する現象も起き始めており、最終収量を減少させている。河川灌漑区の水権転換では、新しい工業プロジェクトに対して水使用の指感がない場合、農業従事者によって余った水からの河渠水量権換を行わなければならない。政府が灌漑区に埋め込まれている。2003年の上立方メートルあたりの転換費用が3元だったのに対し、現在既に7元には達しており、これは灌漑用水費の200倍以上にあたる。このように、工業・農業用水の転換は、十分な差額収益を生むが、この基本は性質は産産学産後という機会費用である。このような機会費用をどのように水を使用する農家を共有するかは研究に値するものであり、日本が持っている豊富な大規模灌漑を参考にするため、この論文ではこの方面での中日共同研究の必要性について探求する。

宁夏沿黄城市带建设的几点思考

武前讲

宁夏大学·曲阜大学国际联合研究会

关键词 沿黄城市带；建设；思考

摘要

21世纪是以城市带为主体和区域经济发展模式，在空间上表现为带状城市带或轴型区域布局，从国际国内的发展趋势来看，区域间已由原来的区域竞争迅速向城市带间的竞争转变，构建和发展沿黄城市带已成为推进宁夏跨越式发展的科学选择。

如何充分利用宁夏沿黄城市带区位优势，以中心城市带为龙头，优化生产要素，整合产业布局，培育发展环境，提升城市功能，降低发展成本，提高整体竞争力，使之成为宁夏开发地区资本、技术和产业转移、参与国内外竞争的经济增长极，实现宁夏经济社会持续快速协调发展，本文在深入分析国内外城市带（带）发展趋势及宁夏沿黄城市带综合

争力的基础上,突出其战略规划建设;加速出台宁夏沿黄城市带的规划编制和具体扶持政策;加快推进一体化的城市基础设施体系和社会服务的网络化;突出大河流域特色的沿黄城市文化,提升城市品质;重视自然因素对沿黄城市带发展的影响。

宁夏黄河沿岸都市带的建设についての思考

侯前洪

宁夏大学 勤慎大学国際共同研究所

キーワード:黄河沿岸都市帯、建設、思考

要旨

21世紀は都市群を主体とする地域経済発展をモダリティとしており、空間上では都市の都市群或いは都市圏影響圏の形で表れている。国内外の発展情勢から見れば、地域の實力は元の地域競争から省の群間の競争へ急速に変化ってきており、黄河沿いの都市帯の建設・発展は既に宁夏の飛躍的發展を進める上での科学的選択となった。

このに宁夏の黄河沿いの都市帯の地域的優位性を利用し、中心都市が牽引する戦略を重点として、生活要素を改善し、産業配産を整備し、發展環境をつくり、都市機能を高めながら、また、同時に發展コストを下げ、全体的競争力をアップさせ、宁夏に先進国の資本や技術、産業移転を誘致し、国内外の競争的経済に参画し、宁夏の经济社会の持続的・急速的・調和的な發展を實現させることについて、本論文では国内外の都市群(帯)の發展情勢と自治区内の黄河沿いの都市の総合的競争力を深く分析した。以下のような戦略的處案を提出する。1、できるだけ早く宁夏黄河沿いの都市帯の計画編制と具体的な扶持政策を制定する。2、都市帯における一体的な総合的インフラ体系と社会サービスが單位の進展を加速させる。3、大河流域特色をもつ黄河沿いの文化を突出させ、都市の品位を高める。4、大自然が黄河沿いの都市帯の發展へ与える影響を重視する。

历史视角与可持续发展目标下宁夏中部干旱带的水资源开发利用

何彬慧

西北农林科技大学水土保持研究所 陕西省水利建设厅 宁夏水利厅

关键词:宁夏河东沙地, 历史时期, 水环境

摘要

文章采用历史地理学及环境考古学的研究方法,根据历代古河和古遗址的分布、古今地名和文献信息,反溯了宁夏中部干旱带历史时期的水环境变化过程,认为湖泊萎缩和消亡、河水断流与河道淤积,并泉消失是该区域干旱年以来地表水环境变化的主要表现。通过分析宁夏中部干旱带历史时期水环境变化的原因,结合当前区域开发中面临的水资源和水环境问题,从保障区域生态安全,实现区域可持续发展的高度,提出了保护水环境和合理利用水资

歴史的視点から見た持続可能な発展目標下での寧夏中部旱魃地域 における水資源の開発と利用

何彬慧

寧夏大学 西北週史官能系統回復と再建省部基地教育館重点実験室

キーワード：寧夏回鹘砂漠 歴史時期 水環境

要旨

本論文では、歴史地理学と環境考古学の研究方法を用い、歴代の古城や古代遺跡の分布、古代と現代の地名の文献情報に基づき、寧夏中部旱魃地域の歴史的な水環境変化の過程を遡って調べた結果、当地域において千年以上、地表水環境の変化として、全河川の縮小や消失・河川の汚染や伏流化・井戸や泉の枯渇等の現象が表れていることが明らかになった。寧夏中部旱魃地域における歴史的な水環境変化の原因分析と現在地域開発の中で直面している水資源・水環境の問題を結合して、地域の生態的安全性を保障し、地域における持続可能な発展を実現させるという視点から、水環境保護と水資源の合理的利用の対策を提出した。

条件不利地区农村劳动力转移比较研究——以宁夏南部山区和日本 中山间地区为例

王国民

宁夏大学西部发展研究中心

摘要

中国西南省经济起步阶段和农村经济发展水平等方面存在差异，但同样存在着地区发展、城乡发展的不平衡，正是由于中国城乡居民收入差距越来越大（2007年城乡居民收入比已达到3.33:1），地区经济复苏则呈现阶梯发展的态势，导致了宁夏南部山区经济落后、生态环境、发展缓慢、资源危机。虽然二十年来中国的改革开放给宁夏南部山区农村带来了巨大变化，但与发达地区和城市相比其差距仍在不断扩大。在中国现代化进程中，宁夏南部山区为了解决生存和发展问题，鼓励劳动力大量流入城市，农民收入有了较快增长。但自上世纪90年代中期起，受全球金融危机蔓延和对实体经济的冲击，中国给海外向华企业出口受到影响，导致已经外出转移出去的劳动力开始返乡。宁夏南部山区农民收入增速开始受阻，农村发展遇到了新难题。日本是一个发达的市场经济国家，成功完成了工业化、城市化和现代化，但山间地区和乡村历来重视人与自然和谐发展的开发方式，适度的人口规模和合理的土地利用方式，遵循自我发展能力的内生式发展模式，并采取了各种经济社会对策，使中山间地区从原

历史的眼光下看到的可持续发展目标下的宁夏中部旱魃地域 における水資源の開発と利用

与形 慧

宁夏大学 西北黄土高原生态系統回復と再建教育部重点実験室

キーワード：宁夏中部旱魃地、歴史時期、水環境

要旨

本論文は、歴史地理学と環境考古学の研究方法を用い、歴史的古城や古代鐵路の分布、古代と現代の地名の文獻情報を基に、宁夏中部旱魃地域の歴史的水環境変化の過程を遡って調査し、当地域において千年以上、地表水環境の変化として、主に湖の縮小や消失、河川の断水や成流化、井戸を穿つ枯渇等の現象が表れていることが示された。宁夏中部旱魃地域における歴史的な水環境変化の原因分析と現在地域開発の中で直面している水資源・水環境の問題を合わせて、地域の生態的安全性を保障し、地域における持続可能な発展を実現するといった観点から、水環境保護と水資源の合理的利用の対策を提示した。

条件不利地区农村劳动力转移比较研究——以宁夏南部山区和日本 中山间地区为例

王同庆

宁夏大学西部发展研究中心

摘要

中国西南省在经济起办阶段和农村经济发展水平等方面差距迥异，但同样存在着地区发展、城乡发展的不平衡，这是由于中国城乡居民收入差距愈来愈大（2007年城乡居民收入比已达到2.3:1），地区经济从东到西呈阶梯度发展的态势。转移宁夏南部山区经济落后、生态脆弱、发展缓慢、失业危机。虽然二十年来中国的改革开放给宁夏南部山区农村带来巨大变化，但与发达地区和城市相比其差距仍在不断拉大，在全国城镇化进程中，宁夏南部山区为了解决生存和发展问题，鼓励劳动力大量流入城市，农民收入有了较快增长。但自全球金融危机蔓延和对实体经济的冲击，中国对海外劳务输出、劳务贸易影响，导致已经外出转移出去的劳动力开始返乡，宁夏南部山区农民收入增加渠道开始受阻，农村发展遇到了新难题。日本是一个发达的市场经济国家，成功地完成了工业化、城市化和现代化，中山间地区30多年来采取人与自然和谐发展的开发方式，适宜的人口规模和土地耕作、土地利用方式，通过自我发展能力的内生式发展模式，并采取了各种经济社会对策，使中山间地区以重

条件转走向复苏, 真正实现人与自然和谐的发展。为此, 研究中主要以区发展的成功经验和人口城镇化教育、解决好农村返乡劳动力的培训和开发再就业, 实现宁夏农村劳动力的定向转移, 对宁夏农村经济与社会协调发展具有现实意义。

条件不利地域における農村労働力の移転についての比較研究—寧夏南部山区と日本中山間地域を例として—

田 慶

寧夏大学西部発展研究センター

要旨

中国西国は経済のスタート段階や農村経済の発展レベルなどの面において大きく異なるが、地域発展や、都市部と農村部の発展における不均等が同様に存在している。中国の都市と農村の収入格差が大きくなってきたため（2007年都市と農村の収入比は3.11）、政策経済は西部から西部への過剰投資の発展状態が形成され、寧夏南部山区では経済発展が遅く、地区発展が遅く、生産環境に陥って、活気がなくなるという事態を引き起こしたのである。30年采の改革開放は、南部山区に大きな変化をもたらしたが、全体的な地域と比べると、格差が次第に大きくなりつつある。中国の現代化進展の中で、生存と発展問題を解決するために、寧夏南部山区では労働力を大量に都市に移転させることにより、農民の収入を増やそうとした。しかし、世界的な金融危機により、中国の輸出型の企業は影響をうけたため、既に移転された労働力が農村に戻り始め、南部山区の農民増収のルートが阻止されるという農村の発展における新しい問題が起きた。これに対して、日本の発達した中果経済の国で、既に工業化、都市化と現代化を成し遂げている、中山間地域は30年来、人間と自然の調和的發展を重視し、適当な人口規模を止めた土地利用の方法で、内発的發展方式と発展方式を強調しながら、様々な経済社会対策をとったことで、中山間地域が不況から発展に転じ、人間と自然の調和的發展を初歩的に実現させた。従って、中山間地域の発展に成功した経験と人口過剰という失敗の教訓を研究することは、農村に向けた労働力のトレーニングや西部開拓といった問題を解決して、寧夏農村労働力の適切な移転を実現させるために思想的な意義を持つ。

西北地区主体功能区划方法研究——以宁夏为例

张 文^{1,2} 余晓霞¹

1. 宁夏大学资源环境学院 2. 西北退化生态系统恢复与重建宁夏回族自治区教育厅重点实验室

关键词 主体功能, 区划方法, 西北地区, 宁夏

摘要

主体功能区也是落实科学发展观、促进区域协调发展的重大举措。文章以西北地区对其独特性及与其它地区的差异性为切入点,基于主体功能区划的意义、原则及理念,资源环境特点及问题,提出了西北地区的划分方法,即以所建立的五个指标体系为基础,采用定性定量相结合的方法,通过两种方法比较分析结合区域的战略选择可确定出最终划分方法,并以宁夏为例进行了实证研究,得出的主要结论有:一是该区域的划分西北地区的主体功能区是其资源环境现状及所面临生态问题的内在要求;二是采用定性因素及定量分析所得出的结果可相互印证,以同致符合区域可持续发展状况。

西北地区における主な機能群の区分け方法に関する研究——宁夏を例として

宋文宝¹⁾ 余培霞²⁾

1) 宁夏大学 资源环境学院 2) 西北卫生生态与社会的回復と再建教育部重点实验

キーワード: 主な機能群 区分け方法 西北地域 研究

中旨

主な機能群を区分けすることは、目的的發展観を實現し、地域の調和的發展を促進するための重要な切り方である。本論文では、西北地域の地域異質性及生態問題の差異性から、主な機能群の区分けの意義、原則と理念、資源環境の特徴及び問題に基づいて、西北地域における区分け方法を提出した。即ち、確立した特征指標システムを基礎にして、定性与定量を結合する区分け方法を採用し、二種類の方法を甲けて比較・分析し、地域の戦略選択を合致せながら、最終的な区分け方針を定め、宁夏を例にして实证研究を行った。主な結論としては、第一に、地域の視座から西北地域の主な機能群を区分けすることはその資源環境の現状及び直面した生態問題の内在的要求である。第二に、主要因素及定量成分を各々分析した上で、その結果を補正して、当該地域の發展の状況に一致させることが期待される。

关于循环经济城市形成的日中政策比較研究序论

关田千

京都大学法文学部

1. 研究課題

本研究課題は通过对循环经济城市形成的日中政策比較、来构思如何长持产

产循环经济发展和环境问题政策体系。本论文作为前半部分,主要依据对有关循环经济城市形成的实际情况结合日本的相关政策进行思考,从而整理出政策课题日比較研究的论旨。

2. 研究背景

2009年1月、中国公布了《循环经济促进法》。至此，为实现循环经济中国有发生较大的转变。迄今为止，中国的循环经济只是一句口号，可以说是圈下，理念先行，即把循环经济当做经济重点区域给予投资，按照循环经济型建设得以实现。

可是，我认为这样的形式只是依靠中央政府投资，在实现真正意义上的循环经济型建设方面还存在许多问题。

3. 研究内容

本报告出自对中国国内指定的13座资源枯竭经济转型试点城市之一的石

嘴市市的调查内容，结合日本与此相同的现状和政策，在介绍九州“反公害”政策知内容以及存在问题的基础上，展望今后中国的政策体系

今后的政策课题和研究课题

- (1) 怎样将高耗能产业改造为循环经济产业
- (2) 怎样跨越单项使用型产业建设
 - ① 产の要素、原料和废弃物的相互关系
- (3) 追求不局限于“大赚西利”而产生的“清洁生产”
- (4) 怎样确保循环经济具有持续性结构
- (5) 充分利用当地的传统技术建设循环经济产业；用规范烧制建筑用砖
- (6) 建设资源集约型劳动就业型产业
- (7) 地方政府的实施这样的政策（研究实施设施，企业间相互扶持机制等）

循環型経済都市の形成にむけた日中の政策比較研究序説

高橋大祐法文学院

関 将平

1. 研究課題

ここでの研究課題は、循環型経済都市の形成に向け日中の政策比較を通じ、環境産業を育成し経済発展と環境問題の解決を図る政策体系を構想することである。本報告ではその前段として、石嘴山市における環境産業の実態と日本の政策について考察し、政策課題や比較研究に向けた論点整理を行なう。

2. 研究の背景

2009年1月、中国では「循環型経済促進法」が公布され、循環型経済への大きく転換しようとしている。これまで中国での循環型経済はいわばスローガンとして先行して理念として先行していた側面が強かったが、試験的な取り組みや重点地域の指定といった制度により具体的な投資をして循環型経済の定着を目指している。

しかしこれらの政策は中央政府レベルでの投資が行きとどきであり、実際の都市や地

域は漸次経済の定着を図る上で多くの課題が残されていると思われる。

②. 研究内容

本報告では、中国国内では3都市が指定を受けている資源枯竭経済技術試験都市のひとつ、石炭田六煤の調査内容について報告する。また、日本における同様の政策・取り組みを実施しているオーストラリアのエネルギー政策とその研究課題についても簡短に紹介した上で、今後の中国における改革体系について展望した。

③. 今後の政策課題と研究課題

①. エネルギー多消費構造を何らかリサイクル産業の場合、どのようにこれを改善するか

②. 単独のリサイクル産業育成をどう実現させるのか

③. 産業集積・原料と産廃物の相互循環

④. 「大量リサイクル」を阻むないための「清潔生産」の形成

⑤. リサイクル製品の持続的な販路の確保をどうするか

⑥. ⑤. の伝統的技術をも活かしたリサイクル産業の形成（石炭田六煤の焼きレンガ製造

を労働集約的で雇用を受け皿となる産業がどうか

⑦. 地を政府としてどのような政策を実施すべきか（研究・試験施設、企業間連携の調整など）

新世纪人类健康维护与民族文化思考

李东野

宁夏大学西部发展研究中心

摘要

根据世界卫生组织(WHO)关于健康的定义:健康即是指人类个体在身体、精神、社会适应性方面处于良好的状态,而不是单纯的指身体无疾病,包括生理健康、心理健康、行为健康、环境健康及道德健康在内的五大健康要素,构成了健康与整体概念。

从二十世纪五十年代的,人类疾病谱发生了根本性改变,人类疾病不再是以急性传染病为主,而诸如高血压、心脑血管病、糖尿病、肿瘤等慢性非传染性疾病成为新世纪人类主要疾病并严重威胁着人类的生命和健康,医学模式也从单一的生物医学模式向着生物、心理、社会、医学互相综合模式转化。当今时代,科技高速发展,医学药品日益繁多,但疾病种类并未因医学科技的高速发展而有所减少,相反,疑难病有增无减,医疗开支巨大,目前致贫现象在城镇和农村屡见不鲜,给人民生活造成了极大的痛苦。在现代文明条件下,许多疾病已经不再是单纯生理原因造成,而是由现代文明包括现代科学技术、现代人的生存生活方式以及道德沦丧、价值观等文化原因同大自然人类生命本体的冲突所致。因此,对人类疾病谱变化的与健

健康認識は必須に要する疾病及健康の文化性、以文化为切入点特别是藉以继承中华民族优秀文化养生文化包括传统医学文化、对新世纪人类健康维护采取多学科和跨学科、多元文化的科技、人文综合方法。

此道工序不仅没有否定现代医学在治疗人类疾病中的重要地位及作用、而且以人与自然和谐统一、进一步探究大健康要广阔的生命科学的视角、去进一步阐明造成人类重大疾病的更深层次原因、以期将维护人类健康取向为自觉起到积极作用。

新世紀の人類健康維持と民族文化に関する考察

高東華

華夏大学西部發展研究中心

要旨

世界保健機関(WHO)の健康に関する定義によると、健康とは即ち人間の身体、精神、社会の適性面における良好状態であり、たゞちに病気がかかっている状態を指すのではない、生理健康、心理健康、行為健康、環境健康と道徳健康という五つの健康要素が合わさり、健康の全体観念が形成される。

1980年代、人類の疾病種類に根本的な変化が起り、急性感染症を主とした時代が終わり、高血圧、心臓、動血管病、糖尿病、腫瘍などの心身医学疾病が人類の主な病元として、人類の生命と健康を脅かすようになった。その間に、医学の方式は単一的な生物医学から、生物、心理、社会、医学を総合する方式に変わってきている。今日、科学技術が急激に発展し、医療薬品の種類が非常に多くなっているにもかかわらず、疾病の種類は減少しておらず、逆に原因不明の難病がどんどん増えている。巨大な医療支出が生計を圧迫し、家庭生活が苦しくなる現象は都市でも農村でもしばしば起っており、人々の生活に大きな苦しみをもたらしている。現代文明の条件下において、疾病の多くは単に生物学的原因で引き起こされたものではなく、現代文明、つまり現代科学技術や現代人の生存生活様式、道徳観、価値観などの文化的要因と、大自衛的な人類生命本體上の衝突によって引き起こされたものである。故に、人類疾病に対する治療と健康維持は疾病と健康の文化性に着目しなければならず、文化を切り口として、特に民族医療文化を含む中華民族の優秀な伝統生命文化を真摯に受継ぎ、新世紀人類の健康維持のために、多くの学科が協働方式、学科を越えた多元文化的な科学技術と人文を統合した手法を利用しなければならぬ。

このような理論により、現代医学の疾病治療における重要な役割を否定するわけではなく、人と自然の認知統一の面から、更に「大健康」という広い生命科学的観点で人類の重大疾病にかかる要因を探索し明らかにして、人類の健康文明の発展に積極的な役割を果たすことが目的である。

职业人群肥胖流行现状及其与血压、血糖、血脂关系的研究

陈均莉 宋静 胡致江 惠 福 侯 杨惠芳 陈楠 杨进军 胡秀娟

宁夏医科大学公共卫生学院

摘要

目的

了解宁夏地区职业人群超重、肥胖、中心性肥胖的流行现状及相关危险因素,探讨其与血压、血糖、血脂水平的关系,为制定全区肥胖防治策略及规划提供科学依据。

方法

运用整群抽样的方法,选择定标至宁夏医科大学附属医院进行健康体检的宁夏地区、职业、职业机关及企事业单位的职工为调查对象,进行问卷调查、体格检查及实验室检查。

结果

1. 一般情况 本次资料齐全者为 2224 人,男性 1413 人,女性 811 人,平均年龄(40.86±11.32)岁,平均工龄(18.7±10.88)年,文化程度:初中 236 人(10.6%),高中 119 人(5.3%),大专 697 人(31.3%),大学 847 人(38.1%),硕士 51 人(2.3%),博士 2 人(0.1%)。婚姻状态:已婚 1906 人(85.73%),未婚 224 人(10.10%),离婚 11 人(0.5%),丧偶 9 人(0.40%)。调查对象按 10 岁为一年龄段进行分组,≥60 岁以上合并为一组,共分为 8 个年龄段:20-29 岁组 161 人(7.24%),30-39 岁组 745 人(33.50%),40-49 岁组 672 人(30.24%),50-59 岁组 278 人(12.50%),60 岁及以上 168 人(7.52%)。

2. 不同年龄、性别职业人群超重率、肥胖率、中心性肥胖率、超重人群超重率、肥胖率、中心性肥胖率分别为 35.39%、9.67%、46.67%;男性超重率、肥胖率、中心性肥胖率分别为 44.87%(534/1191)、12.99%(185/1413)、54.59%(847/1531);女性超重率分别为 18.87%(153/811)、3.7%(30/811)、23.55%(191/811);男性患病率均高于女性结果(χ^2 分别为 152.38、52.06、274.18,均 $P<0.01$),男生在 50 岁和 49 岁组超重率、肥胖率、中心性肥胖率最高,而女性从 30 岁组开始逐渐呈一个增高趋势,60 岁组达高峰。

3. 不同年龄、性别职业人群腰围水平 男性职业人群腰围平均为(86.57±8.79)cm,以 50 岁组职业人群腰围最大,女性平均为(73.69±8.78)cm,随年龄的增长腰围水平随之增大,60 岁达高峰。

4. 超重、肥胖与血压、血糖、血脂异常的关系 超重和肥胖人群高血压、高血糖、血脂异常率均高于体重正常组;中心性肥胖者高血压、高血糖、血脂异常率均高于腰围正常者,差异均有统计学意义(χ^2 值分别为 167.11、9.17、307.01,均 $P<0.01$),表明超重和肥胖的发生与异常的增长呈正相关。

5. 多元 Logistic 逐步回归显示 性别、年龄、饮酒、高血压、血脂异常与肥胖有着密切的关系(OR 值分别为 3.015、1.053、1.104、2.892、2.889, $P<0.05$ 或 $P<0.01$)。

結論

宁夏回族自治区超重率、肥胖率已处于较高水平，超重、肥胖尤其是中心性肥胖，是高血压、糖尿病、血脂异常的主要危险因素，应制定相应的防治策略，预防和控制肥胖症的发生。

オフィスワーカーの肥満の蔓延状況と血圧、血糖、血脂関係の研究

陳利利 李輝 張麗非雲 強麗 楊思方 陳曉 楊建平 馬秀娟

要旨

目的 宁夏におけるオフィスワーカーの体重超過、肥満、中心性肥満の蔓延状況及び発症する危険要因に対する理解を、血圧、血糖、血脂レベルの関係の検討を通して、全自治区の肥満問題について予防と治療の戦略及び計画のための科学的根拠を提供する。

方法 対象となる団体のランダムな抽出する方法で、定期的に宁夏医科大学附属医院で健康診断ができる宁夏銀川、銀川南區、銀川北區政府組織、企業、事業所に従事する職員を対象とし、ランダムに調査及び身体測定、実験室での検査を行う。

結果 1、一般状況 今回、資料が全て揃った被験者は 2221 人で、その内男性が 1113 人、女性が 1108 人である。平均年齢は 40.86 ± 11.32 歳で、平均勤務年数は 11.67 ± 0.58 年である。文化程度は中学卒業程度 236 人 (10.6%)、高校卒業程度 319 人 (14.4%)、専門学校卒業程度 697 人 (31.3%)、大卒卒業程度 874 人 (39.4%)、大学院修士課程修了程度 81 人 (3.7%)、博士課程修了程度 2 人 (0.1%) である。婚姻状況は結婚 1960 人 (88.13%)、未婚 221 人 (10.10%)、離婚 31 人 (1.39%)、配偶者との死別 9 人 (0.40%) である。調査対象者を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 歳以上という 5 つのグループに分けると、20 代 361 人 (16.25%)、30 代 745 人 (33.55%)、40 代 672 人 (30.22%)、50 代 378 人 (17.0%)、60 歳以上 165 人 (7.4%) である。

2、年齢、性別別にみる体重超過者の比率、肥満率、中心性肥満率。調査対象者の内、体重が超過している人の比率は 35.3%、肥満 34 (9.67%)、中心性肥満率は 45.67% である。男性における体重超過者の比率、肥満率、中心性肥満率はそれぞれ 41.87% (631/1413)、13.0% (186/1413)、24.49% (447/1413)、女性ではそれぞれ 18.87% (153/811)、3.7% (30/811)、25.55% (91/351) であり、男性がこれらの病気になる比率は女性より高い (1.2 倍) である (52.3%、72.0%、274.1% 均 $P < 0.01$)。男性は 50 代と 40 代のグループにおいて体重超過者の比率、肥満率、中心性肥満率が一番高いが、女性では 30 代の初めから増加の傾向があり、60 歳以上のグループがトップとなった。

3、年齢、性別別にみる腰周りのサイズ平均。男性オフィスワーカーの腰回り径は平均 (86.57 ± 8.79) cm で、50 代が一番大きく、女性の腰周りのサイズ平均は (71.69 ± 8.78) cm で、年齢が上がるにつれて腰回りも大きくなる傾向があり、60 歳以上のグループとなっ

4. 体重超過及び肥満と、血圧・血糖・血脂異常の關係 体重超過者と肥満患者は、血圧・血糖・血脂異常の値が標準体重の人たちよりも高い。中心性肥満者は血圧・血糖・血脂異常率の値が標準体重のライズが標準である人たちに高く、その差は全く統計学上の意味があった（ P 値は分別に 1.97、11、19、19、1.66、0.01、均 P <0.01）。高血圧と高血糖の発症率は年齢の上昇に従って上昇する傾向にある。

5. 多変数 Logistic 法による多項回帰 性別、年齢、飲酒、高血圧、血脂異常と非糖尿病発症の關係が明らかで、OR 値がそれぞれ 1.3、0.5、1.093、1.104、2.892、2.890、 P <0.05 或は 0.01 である。

結論 宁夏回族自治区のオアシス牧場の体重超過者の血圧や肥満率は十分に比較的高くなっている。体重超過や肥満、特に中心性肥満は、高血圧、高血糖、血脂異常に対する重要な危険要因であり、予防や治療のための戦略を定め、肥満症の発生を予防する必要はある。

中国省间协作农业产业化经营的展开--宁夏回族自治区移民区闽宁镇武河村的菌草产业化经营为例

王 非 谷 川 史 浩
 昆明大学生态资源学部

1987 年改革开放以来，中国经济由计划经济向市场经济转变，随着经济的发展东西部地区（特别是西部地区）的差距越来越大。针对这种差距，1990 年 5 月，国务院召开了全国扶贫协作会议，会议出台了全国范围内的跨省、市对口帮扶政策。其中，宁夏回族自治区（以下简称自治区）与福建省达成协议，开展帮扶合作关系。与此同时，农业产业化经营作为地区振兴政策也得到了相应的发展。所谓农业产业化经营就是，促进农产品的生产与销售，把农业经营向家庭经营转化为产业化经营，引进新的生产技术与经营方法，构建非农业企业与农户之间的协作关系。

本报告就自治区与福建省之间的跨地区地域振兴政策，是对于闽宁镇××的菌草产业化经营的特点进行案例分析。菌草产业是扶贫开发政策的具体表现之一。所谓菌草技术，就是运用菌草栽培食用菌的专用菌和药用菌技术。宁夏的菌草生产始于 1988 年，1988 年召开的共青区（福建省的自治区）党政联席会议决定从福建农林大学引进菌草栽培技术，由农大派遣或不员到闽宁镇，彭阳县，盐池县，海原县等地区进行试种。在试种成功的基础上推广到了全区。由此证明菌草产业的发展在投入资源缺乏的自治区不是没有可能。

闽宁镇是福建省利用自治区政府投资在自治区水利条件好的地区建设的以宁夏回族自治区的移民模范基地。1997 年 7 月破土动工，建设于 1998 年 9 月，从闽宁镇到 50 多公里处的西吉县搬迁移民 2.2 万人。在福建省农林大学技术员的指导下菌草产业得到了相应的发展。

示、本報以閩寧鎮武河村為例，研究分析了移民區技術轉移的發展情況。

本報以地域振興政策中的閩寧協定在政策上的支援作用做為外部原因，研究分析了閩寧武河村300畝菌草種植基地的發展情況。為此，本報告在2008年8月實地調查的資料、《攜手創輝煌—閩寧互學互進對口扶貧十年回憶錄》一書以及各年現狀報告的基礎上進行了深入考察。然而在內部原因方面，考察了閩寧協定區域的技術轉移、經營方式以及發展方法。

以下是由此視點生發，對閩寧協定的具體展開、以省間協作中的閩寧協定、20對閩寧村武河村菌草產業化經營原因的分析、對移民區技術轉移方式的發展過程、對移民區菌草產業化經營的自生及發展。

寧夏回族自治州閩寧鎮武河村的集落移転による菌草産業化經營 を事例に—

下篇 谷口憲治

島根大学生物資源科学部

1978年の改革開放政策により、中国経済は計画経済から市場経済になり、その発展により東部沿海地域と西部内陸部の格差が大きくなった。この格差を縮減するために、1998年5月に國務院が全国扶貧協力会議を開催して、省間協定という中国全土の地域振興政策を提出した。その中の一つの寧夏回族自治州(以下自治区)と福建省の間で協力関係が結ばれているのである。この省間協定による政策は、一つの地域振興策である「農業産業化經營」と結合して推進されていった。この「農業産業化經營」とは、農産物の生産・販売を促進することにより、農業經營を家族經濟から企業組織經營に転化し、新しい生産技術と經營を農業に導入するために、農外企業と農家組織が相互関係を構築するものである。

本報告は自治区と福建省の間で行われている広域の地域振興政策、特に、集落移転による菌草産業化經營の特質を明らかにする。こうした政策の一つの具体的な現れは、閩寧協定の中の「菌草産業」において見られる。「菌草、技術け、水のかわりに使、植物資源廢棄物などを食用菌と薬用菌を共増殖する技術」である。寧夏菌草産業は1998年から始まった。1999年に両省区、福建省(自治区)党・政府連合会議の決定により、福建省農業大学の菌草技術が導入され、大学から技術員を派遣し、福寧鎮、彭陽鎮、原州区、海原縣などの地域で試行した。この試行の成功に基づき、自治区各地で広がった。それにより、菌草産業が半乾燥地帯で原本資源のない自治区に可能となるものである。

閩寧鎮は、福建省より自治区に武に投資して自治区の本利条件のよいところを建設され、この移住基地が両省・区の扶貧協力の模範事業になった。1997年2月から1998年9月まで自治区賀蘭川の下の河岸に新しい村が作り上げられた。300数軒の家、5000が新鮮な

西吉原から移住者を23万人が引越せ、開墾地に定住した。福建省農業大学からの技術者の指導に基づき、蔬菜生産が發展されている。本稿では開墾鎮武河村を案例とし、この移住移転による技術移転方式の發展決意を明らかにする。

本報告では、省間協力という地域振興政策による開墾協定から見出した「政策支援」という外的要因に基づき、武河村における500畝(3ヘクタール)の蔬菜種植基地の發展状況を明らかにする。そのために、2008年5月に発行された調査報告書と共計「概手訪視型・開墾協定型両類型移住・年間早」各年度の仕事レポートに基づいて考察してきたのである。続いて、政策協定による技術移転、移住、管理方法といった内的要因を考察する。

このような観点から、以下の5章は、省間協力による開墾協定について展開し、開墾鎮武河村開墾産業化移住の存続要因について明らかにする。3章以降、より具体的に移住移転による技術移転方式の發展過程を明らかにする。そして、移住移転による開墾産業化移住の役割と前景を明らかにする。

宁夏经济振兴与人口可持续发展

苏东厚

宁夏大学政法学院

关键词 条件不利地区，宁夏经济振兴，人口可持续发展

摘要

宁夏特别是南部山区属于条件不利地区，宁夏地处中国西北干旱地带，生态环境脆弱，南北海拔差异大，北部引黄灌区，自古以来宁夏河水自流灌溉，可谓“天下黄河富宁夏”。南部山区八县山大沟深，交通不便，农业基础薄弱，长期干旱缺水，农民生产靠天吃饭，广大农民整体生活水平低，部分农民至今还没有摆脱贫困，现大部分处于温饱阶段，南部山区特殊的自然条件与生态环境，严重影响了农业的发展与农民生活水平的提高，延缓了南部山区经济的发展和小康社会建设的步伐。宁夏地处西部少数民族贫困地区，受历史和自然地理等条件的影响，宁夏整体经济发展慢，对外开放水平低，工业基础薄弱，财政收入能力差，第三产业发发展慢，吸纳就业人口少，在经济社会发展的过程中，与沿海地区差距日趋加大。新中国成立60年来，宁夏在经济社会快速发展的同时，人口也得到了快速的发展，人口数量由建国初期119万，增长到目前的610万，人口素质也得到了极大的提高，但在人口发展过程中还存在诸多问题，诸如南部山区人口与汉族人口出生率偏高、增长过快，人口素质大大低于全国平均水平，卫生人口性别比偏高，流动人口计划生育管理工作基础比较薄弱，人口出生管理综合治理长效机制尚未形成，人口可持续发展的导向机制与社会保障机制发育不够等，影响着宁夏经济的振兴与人口的可持续发展。在未来的五十年，宁夏将面临着人口总量、流动人口、老年人口大量增加的三大人口高峰，宁夏面临着劳动就业、社会保障、医疗卫生等方面的挑战，因此，在加快宁夏经济社会发展的同时，必须促进宁夏人口的可持续

寧夏經濟の振興と人口持続の可能な發展

蘇 東海

寧夏大学政法学院

キーワード： 条件不利地域 寧夏經濟振興 人口持続可能な發展

要旨

寧夏、特に南部山区は条件不利地域に属し、生態環境が脆弱で、南部と北部の格差が大きい。北部は昔から今まで、黄河の本流によって灌漑を行うことができ、『天下の黄河に寧夏を濟ませている』と言われている。南部山区には多くの泉があるが、水が小さく谷が深いので交通が不便で、農業の基礎が弱く、旱魃が連年続き、出水に傾いた農業生産を行っているため、農民全体の生活レベルが低く、農民一部は貧困からまた脱出していないし、大部分の農民が温飽（冬は余り寒くなく、食事ができるぐらいの最低生活レベル）に陥っている。そして、南部山区の特殊な自然条件と生態環境が、この地域の農業生産や農民生活の向上、經濟の發展、小社、社会を作るサポートに強く影響を及ぼしている。寧夏は西部少数民族地域に位置しているため、歴史や自然地理など不利な条件で、全体的經濟發展が立ち遅れ、對外開放レベルが低い。また、産業基礎が弱く、租税力も財政力も弱く、そして、第三次産業の發展が遅く、就業人口が少ないために、經濟社会發展において沿海部との格差がますます大きくなった。新中国が成立してからの数十年間、寧夏では經濟社会が飛躍的な發展を遂げたと同時に、人口も建国初期の1億7千万から、現在の610万人まで飛躍的に増加し、教育レベルを大幅に高めた。しかし、人口成長の中で諸問題が起った。例えば、南部山区の人口と回族の人口出生率は高く、増殖の速すぎたため、教育レベルが全国レベルより大幅に下回っている。また、出生人口の増殖の偏りも大きく、流動人口の計画出生に対する管理政策が不備で、長期にわたる有効な管理機構がまだ形成されていないので、持続可能な人口成長の牽引メカニズムと社会保障メカニズムが十分に役割を果たしていない等が、寧夏の經濟發展と人口の持続可能な發展に影響している。これからの数十年間には、寧夏は人口総数、勞働力人口、高齢者人口が大幅に増えるという三大人口ピークに直面することになり、また、雇用就業と社会保障の圧力がますます大きくなることへの挑戰に直面しなければならぬ。そのため、寧夏は經濟社会の發展を加速すると同時に、人口の持続可能な成長を促進しなければならぬ。

利用遥感技术測量大面积森林的生物量

宋 東亮

吉林大学生物資源科学部生態环境科学系

大面积森林监测特别是作为森林生物量的测年手段, 应使航空扫描型激光扫描仪(LIDAR) 用这种仪器可以同时测量地表的标高(DTM)和河流面的标高(DSM), 我们从DTM和DSM的差值差可以得到森林的空间体积(DCHM)(图1)。另一方面, 随着近年来PC处理能力的提高, 也可以采用数字航空摄影图像的手法, 从航空图像中得出与LIDAR方法同样的结果, 还可以利用过去的航空照片, 将林线线采伐时的DSM设定为DTM, 从而DCHM的变化。

航空照片可覆盖几千平方公里的测区, 因此, 航空图像测量法适合进行几千平方公里范围内的测量, 但进行像人眼这样大范围的测区时, 就得使用像几百公里的大卫星, 人造卫星ALOS上装载的PRISM传感器可以2.5m的分辨率同时对三个方向进行观测(图2)。

通过立体解译PRISM传感器的数据, 可以得到与航空像同样的DSM效果, 所以, 用PRISM计算DSM, 用测定式(图3)推定出生物量。为验证PRISM的特点, 可以与航空照片推定的生物量进行比较, PRISM和航空照片的生物量如图4所示, 这充分说明了PRISM利用的可能性。

在宁夏, 我们得到过去的航空照片和过去的可进行立体解译的卫星数据, 但是, 干燥地区的森林没有被林火烧毁, 从上空可以看到地面, 所以前方立体解译可以同时测出DSM和DTM, 直接进行立体解译的卫星中有ALOS/PRISM, 还有高精度卫星。今后, 我们的研究使这些卫星在宁夏进行森林监测的可行性。



图-1 标高模型



图-2 ALOS/PRISM

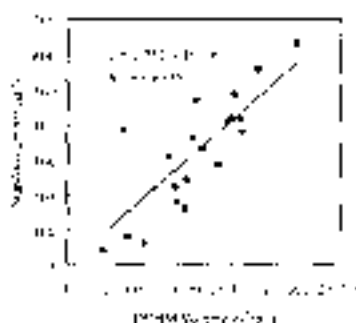


图-3 DCHM与生物量变化

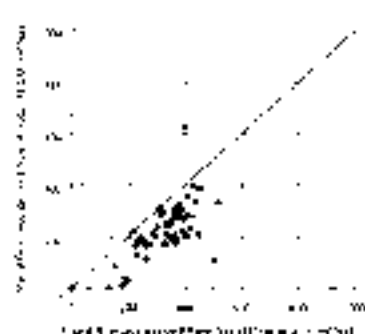


图-4 PRISM与航空图像的比较

リモートセンシングを用いた広域森林のバイオマス計測

米 林 亮

鳥取大学 生物資源科学部 生態環境科学科

広域の森林計測、特に森林バイオマスを計測する手法として、航空機搭載型レーザースキャナ(LiDAR)を用いる方法がある。このLiDAR計測では地表高度(DTM)と樹冠面高度(DSM)を同時観測することが可能であり、DTMとDSMの差分から森林平均樹高(DCM)を把握することが可能である(図1)。図1はバイオマスと相関が高いため高精度でバイオマスを推定することが可能である。一方、近年のリモートセンシング能力の高進化に伴い、航空機航空写真撮影手法を用いて航空写真からLiDAR計測と同様のDSMを作成することが可能となり、過去の航空写真を用いて林冠を抽出された時点のDSMをDTMとみなすことで、DSMの変化をモニタリングすることが可能である。

航空写真は1枚で数km²程度の範囲をカバーするため、航空写真撮影手法はこの数km²程度の森林をモニタリングには向いているが、さらに大規模な広域範囲をモニタリングしようとした場合、数百km²をカバーする人工衛星の活用が不可欠である。人工衛星ALOSに搭載されたPRISMセンサーは5m解像度で3方向の同時観測が可能である(図2)。PRISMセンサーを立体解析することで航空写真と同様にDSMを作成することが可能である。そこで、PRISMを用いてDSMを作成し、推定式(DCM)を用いてバイオマスを推定した。さらに、PRISMの精度を検証するため、航空写真から推定したバイオマスと比較した。PRISMと航空写真の表裏対比の様子は、PRISMの利用可能性が明らかとなった。

衛星では、過去の航空写真や過去の立体解析可能な衛星データを入手することは困難と考えられる。しかし乾燥地部の森林のように、林冠が開閉していない森林では地表面が上空から見えるため、立体解析を行うことでDSMとDTMが同時に観測できる可能性がある。立体解析が可能な衛星にはALOS/PRISMの他、衛星解像度衛星がある。今後、衛星でのこれらの衛星の利用可能性について研究を行いたいと考えらる。



図1 樹高モデル



図2 ALOS/PRISM

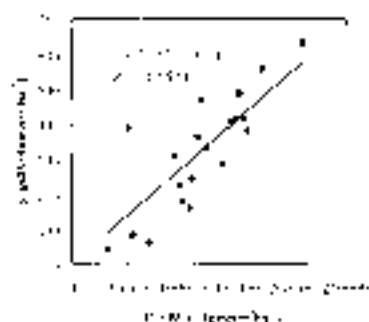


图3 DC-HM-1994年3月不交换式

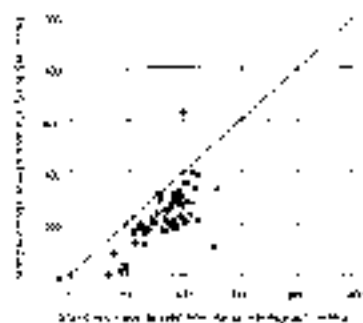


图4 PRISM-1994年3月不交换式

论西部民族地区生态安全与生态利益补偿机制的环境法律矫正与规制

白新洋

宁夏大学政法学院

关键词 西部民族地区；生态安全；生态利益补偿；环境法律矫正

摘要

我国西部民族地区总体上属于条件不利地区，生态安全是这些地区流域开发与可持续发展的基础和前提。生态安全也应当变为行动的必然途径是将生态安全法制化，贯彻《宪法》和《民族区域自治法》等法律对民族自治地方输出自然资源给予生态补偿的规定，切实实施西部大开发以来，成功的实践了退耕还林力上的生态补偿机制，但还需深入研究生态补偿机制的适用范围。我国西部民族地区由于其特殊的地理位置及其特殊地质，又决定了西部地区生态安全保障是我国整个生态安全的根基、根本与核心，建立健全西部民族地区生态环境利益补偿机制是促进我国条件不利地区区域可持续发展的首要举措。生态补偿机制就是以改善或发展生态系统服务功能为目的，以经济手段为主，调整相关利益者（保护者、破坏者和受益者）利益分配关系的一种制度安排。西部生态安全问题产生的主要根源在于发展能力的贫困与不足，为此，需要完善我国环境法律的矫正与规制功能，对西部地区采取生态利益补偿和倾斜保护，以实现对弱势生态利益的真正平衡。还可以通过环境法律制度来解决西部民族地区特殊的自然资源权属问题，环境资源开发利用与管理与权利行使的冲突等实际问题。完善弱势群体利益倾斜与倾斜保护机制，特别需要国家财政转移支付的方式与途径，实现对西部地区“特别照顾”利益的协调。消除贫困与维护生态安全是西部地区实现可持续发展的前提基础。西部民族地区生态利益补偿机制的环境法律矫正与规制是西部民族地区生态安全和可持续发展的现实需要，更是环境法治与社会和谐的必然要求。

西部少数民族地域における生態保全と生態環境利益の保証に関する環境法律の改正と規制

白 礼 萍

宁夏大学政法学院

キーワード 西部民族地域 生態安全 生態利益補償 環境法律改正

要旨

我が国の西部少数民族地域は全体的に条件不利地域に属するが、生態保全がこれらの地域の生態を持続可能な発展に対する基盤及び前提となっている。生態保全を理念から行動に変えるために必要な方法は、生態保全を法律化させることである。「憲法」や「民族区域自治法」等の法律を施行するのみ、民族自治地方における自然資源輸出への生態補償に関する規定であり、中央が西部大開発政策を実施して以来、「退耕還林」を中心とする生態補償体制の実践に成果したが、生態補償体制の適用範囲を更に拡大する必要があると思われる。西部少数民族地域は特殊な地理条件と環境状況により、西部地域の生態保護の方向の全体的な生態保全の重要なポイントであり、根本であり、核心でもある。西部少数民族地域の生態環境利益の補償体制をつくることは、我が国の条件不利地域の改訂的発展のための重要な方法である。生態補償体制は生態システムの機能を改善し回復するための主要な経済手段として、利益関係者（保護者、破壊者と受益者）の利益分配関係を調整する制度計画である。西部における生態問題は発展能力の欠乏と不足を主な原因として発生するので、興い生態体系に対する攻撃を把握させるために、我が国の環境法律の構正と規制機能を完備させ、西部地域に対して生態利益補償と傾斜保護政策を取らなければならぬ。また、環境法は制度によらず、西部少数民族地域の特殊な自然資源権の所有問題、及び環境資源開発の利用管理と権利の行使との衝突下の現実問題を解決する、西部地域の行政案件、利益に対する調整を実現するために、興者への利益補償と傾斜保護メカニズムを完備し、特に国家財政の移金的支助の方式から一歩を踏み進めなければならない。貧困克服と生態保全は西部地域が持続可能な発展を達成するための前提と基盤である。西部地域の生態利益補償体制に関する環境法の改正と規制は西部地域の生態保全と持続可能な発展のための緊急であり、環境法治と社会調和のために必要な要求でもある。

宁夏干旱荒漠区苦豆子内生菌拮抗细菌的筛选及其抑菌物质研究初报

杨洋文

宁夏大学农学院

关键词 苦豆子、内生菌、拮抗、筛选、抑菌物质

摘要

通过测定菌体及胞外分泌物抑菌活性,从 354 株苦豆子内生细菌中筛选出对黄曲霉菌株、拮抗枯草杆菌和链球菌属菌有较强抑制活性的菌株。对抗菌活性显著的 KDB342 菌株的胞外抑制物质进行初步研究,结果表明:KDB342 菌株胞外分泌物抑菌活性最高稀释倍数为 100 倍;其抑菌物质具有一定的热稳定性,100℃处理 10min 仍有部分抑菌活性,120℃则完全丧失活性;其抗菌活性物质为蛋白质类物质,可通过(NH₄)₂SO₄ 盐析和浓缩-75%硫酸铵饱和液萃取的粗提液抗菌活性最强。

宁夏的旱魃荒漠区における苦豆子 (*Sophora alopecuroides*) の内生菌類 (Screening Antagonistic) 細菌の選別とその抑菌物質に関する研究初報

陳丙文

宁夏大学農學院

キーワード: 苦豆子 (*Sophora alopecuroides*)、内生細菌、菌質、選別、抑菌物質

細菌体と細胞外分泌物の抑菌活性を測定することによって、354 株の苦豆子 (*Sophora alopecuroides*) の Screening Antagonistic 細菌の中から顕著な枯病、フシト立枯病、アザキ立枯病の菌に強く抵抗する菌株を選別する。抗菌活性の優れた KDB342 菌株の細胞外抑制物質に対する初歩的研究を行った結果、KDB342 菌株の細胞外分泌物の抑菌活性は最高希釈倍率が 100 倍である場合、その抑菌物質は一定の熱安定性をもち、100℃で処理した場合 10 分間活性は部分的に抑制活性があるが、120℃の場合、活性は全てなくなる。その抗菌活性は蛋白質類の物質であり、(NH₄)₂SO₄ の塩析と濃縮の方法によって、硫酸アモニウムの飽和度が 75%

退耕还林工程与宁夏南部山区农村经济持续发展研究

蔡 荣

宁夏大学经济管理学院

关键词: 退耕还林, 农村经济, 可持续发展

摘要

宁夏南部山区土地面积占全区的 83.6%, 人口占 40.2%。该山区干旱、生态植被稀少, 水土流失严重, 曾是全国最贫乏的地区之一。实施退耕还林工程 9 年来, 生态环境得到显著改善, 达到了保水增水、涵养水源、调节气候的目的, 初步实现了山变绿、水变清、生态不恶化、泥土不冲沟的治理目标, 同时获得了明显的生态效益和社会效益, 有力推进了退耕

×农民收入的增长,为宁夏南部山区农村经济的可持续发展奠定了良好的基础。本文根据有关监测调查资料,对宁夏南部山区的彭阳、原州、西吉、海原、固原、同心、涇源、隆德等8县(区)的退耕还林情况跟踪调查,用详实可靠的调查数据进一步阐述了退耕还林这项伟大的生态工程对当地生态、农村经济和农民生产生活的影 响程度,在分析退耕还林工程对宁夏南部山区农村经济的影响的基础上,提出了进一步稳妥推进退耕还林(草)工程建设,发展后续产业促进农民增收,大力发展劳务经济,多渠道转移农村剩余劳动力,整合资源,发展生态旅游业等进一步实现农村经济可持续发展的几点思考意见。

退耕還林プロジェクトと寧夏南部山区の持続可能な農村經濟發展 に関する研究

袁 卓

奉天大学 經濟管理學院

キーワード: 退耕還林 農村經濟 持続可能な發展

要旨

寧夏南部山区は土地面積において全自治区の32.6%を占めてはいるが、この地域は気候が乾燥しており、林草植生が少なく、水土流失が激しい全国でも最も貧しい地域の一つであった。しかし、退耕還林プロジェクトを実施してからの9年、生態環境が顕著に改善され、水土保持、涵養水源、氣候調節という目的を達成した。そして、固原緑化され、水質も浄化され、森林が炭素にならず、表土の流失を抑えるという地理目標も実現した。生態効果と社会効果を通じて、退耕区の農民収入を増加させて、寧夏南部山区の農村經濟の持続可能な發展のための固い土台を築き上げた。本文では関連する観測調査の資料を基に、寧夏南部山区の彭陽、原州、西吉、海原、固原、同心、涇源、隆德など8縣(区)の退耕還林状況を追跡調査し、詳細且つ正確な調査データにより、退耕還林という偉大な生態プロジェクトが地元の生態や農村經濟、農民の生産生活に与える影響を深く論述・分析し、退耕還林(草)プロジェクト建設の更なる健全な実施、持続産業の進展による農民の収入増加、劳务經濟の發展、農村の余剰労働力の多様な手段による移転、資源整合、生態観光業の發展などといった持続可能な農村經濟發展に対する我々の参考意見を提出した。

农户和社区参与土地退化防治项目的自愿行动机制构建

刘秉强

中国退化生态系统恢复与重建教育部重点实验室

摘要

夏冬東等基于蒙東省生態移民（易地安置）區域，土地退化防治與人居環境的改善是阻擋當地可持續發展的重要問題。科技人員和群眾共同探討，摸索，總結出了以產業帶動土地退化防治，以循環經濟發展生態型農業的思路，將土地退化防治和農民生活改善與手工藝結合起來，走可持續發展的道路。首先以稀缺水資源的節約和合理利用為出發點，通過調整產業結構，尤其是通過政府扶持農戶追求利潤的產業如葡萄、蔬菜、菌草產業和養蠶業等，減少農戶生計對水資源的過度依賴。建立健全村級農戶發展的組織機構，增強農戶的發展能力，進而在社區層次改善公共設施，自然環境，加強人居環境整治，形成土地退化防治與人居環境改善的良性互動。這種以政府扶持農戶追求利潤的產業項目為引導，針對不同土地類型，依靠產業帶動土地退化防治，依靠循環經濟促進農業生態系統維持可持續性發展，建設人與自然和諧可持續發展的社區，是農戶和社區參與土地退化防治項目的自發機制。

農家とコミュニティが参加する土地退化防止プロジェクトの自発的行動構造の形成

劉東龍

寧夏大學 西北退化生態系統回復と再建教育部重慶実験室

寧夏大學西部生態と生物資源開発共同研究センター

要旨

賀蘭山の東部（寧夏自治區）が実施している生態移民プログラムの重点地域であり、この地域が持続可能な発展を維持するための主要な問題は、土地の退化防止と居住環境の改善である。多くの科学技術研究者や住民が共同で研究、協議、模索した結果、卒業によって土地の退化防止を促し、村家経済で生態型農業を開発させるという考えをまとめ、土地の退化防止と農民生活の改善という二つのテーマを結び合わせ、持続可能な発展の道を探求している。まず、極めて少ない水資源の節約と合理的利用を出发点として、産業構造の調整により、特に政府が支援し農家が利潤を追求できる葡萄産業を中心に果業、養蠶業などの産業によって、農家生計の水資源への過度の依存を減少させる。そしてコミュニティには農家が発展できるように健全な組織を作り、農家の発展能力を增强させ、コミュニティ内の各公共施設や自然環境を改善して居住環境の整備に力を入れ、土地の退化防止と居住環境の改善の良好な相互作用をもたらすことが重要である。このような、政府の支援のもとで農家の利潤を追求する産業プロジェクトを資金として、さまざまなタイプの土地に対して、卒業が土地の退化防止を促すということ、循環経済による農業の統合的な生態系の持続可能な発展の維持を模索し、人と自然が共に発展を支え合えるようなコミュニティを建設することが、農家とコミュニティが参加する土地退化防止プロジェクトの自発

的行動になるのである。

内蒙古杭锦后旗双庙镇继丰村乌兰布和沙漠治理效果的调查与分析

李在吾

内蒙古师范大学马克思主义学院

关键词：内蒙古；杭锦后旗；双庙镇；继丰村；乌兰布和沙漠；治理

摘要

乌兰布和沙漠是全国八大沙漠之一，风沙是该地区最主要的自然灾害。直到现在，乌兰布和沙漠治理形势依旧严峻。笔者通过对杭锦后旗双庙镇继丰村乌兰布和沙漠的三次大规模治理效果的调查发现，1999年以来，由于国家加大了投资力度，建立了比较完善的管理制度，广泛运用了科学技术等原因，这里的沙漠效果特别显著，沙害基本上得到了控制。2007年，继丰村还成为全国生态建设示范点。这些成功的经验或许能为其他地方的治沙提供有益借鉴。

内モンゴル杭錦後旗双廟鎮繼豊村におけるウランブハ砂漠の治理 効果についての調査と分析

李在吾

内モンゴル師範大学 マルクス主義学院

キーワード：内モンゴル；杭錦後旗；双廟鎮；繼豊村；ウランブハ砂漠；治理

要旨

ウランブハ砂漠は中国「八大砂漠」の一つであり、風と砂が当該地域の主要な自然災害である。現在まで、ウランブハ砂漠の治理状況は依然として厳しい。筆者は杭錦後旗双廟鎮繼豊村における三次のウランブハ砂漠に対する治理の結果を調査し、1999年以来、国家投資を増やしたため、比較的完備された管理制度が制定され、科学技术を幅広く利用したため、治理効果が非常に顕著であり、砂災害が基本的に抑えられたことが分かった。2007年、繼豊村七社は全旗の生態建設のモデルになった。これらの成功経験は、他の地方の治砂に有益な参考となるだろう。

从我国医疗卫生规划及国内外健康产业发展看我区职业技能人才培养的重要性

马东洋

宁夏大学西部发展研究中心

关键词：医疗，规划，发展，管理，产业，民族，职业技能，人才培养
摘要

中国在制定“健康中国2020”战略规划，从“健康中国2020战略规划”的制定，可以看出中国建设健康管理体系及开展健康管理、发展健康服务产业的紧迫性和必要性。改革开放以来，宁夏回族自治区在经济文化和人民生活水平方面都有了很大程度提高，医疗卫生条件有了很大改善，尤其在此领域有着独特的民族医学文化优势及师资力量，认真继承民族优秀医学文化，积极发展健康管理新型学科，大力培养民族健康管理新型行业职业技能人才，是国家“健康中国2020”战略规划的重要内容和自治区党委政府关于加强我区职业技能人才培养教育方针政策的具体落实。结合我区地域人文科技等优势条件，在综合大学、职业院校职业技术学院及职业大学开设健康管理专业，培养专门培养健康管理专业合格职业技能人才，有效服务宁夏及经济文化发达省市开展健康服务体系，是我区发展健康产业、提高人民生活水平、保障健康、促进成功能主要途径之一，也是文明社会和善、以人为本的必然选择。

我が国の医療衛生計画と国内外の健康管理産業の発展から寧夏回族自治区における職業技能人材育成の重要性を見る

馬東華

宁夏大学西師發展研究センター

キーワード：医療 計画 健康 管理 産業 寧夏回族自治区 職業技能 人材育成
要旨

中国は「健康中国2020戦略計画」を制作している。「健康中国2020戦略計画」の制定から、中国が健康管理という新型学科及び健康管理の展開と健康サービス産業を発展させる必要性と長期性を見出たされる。改革開放以来、寧夏回族自治区では経済文化と自治区民の生活レベルが大幅に向上し、医療衛生条件が大きく改善された。特にこの分野での独自の民族医学文化の優位と教育者の優位を有している。彼らは民族の優位を民族文化を受け継ぎ、健康管理という新型学科を積極的に発展させ、民族健康管理という新型職業技能人材を育成することで、国家の「健康中国2020戦略計画」の呼びかけに応じ、自治区党委員会と政府による寧夏回族自治区職業人材育成に関する方針政策を具体的に実行に移している。自治区の風土と科学技術の環境に基づき、総合性大学と高等職業技術学院及び職業大学において健康管理という新しい専攻科目を設け、寧夏回族自治区及び国内の経済文化の発展している省、自治区の民族健康サービス部門に健康管理分野の優れた技術人材を送り出して健康産業を発展させることは、健康を保障し、生活を改善して、自治区の生活レベルを向上させる主要な道の一つである。これは、文明社会の調和と一人を基本とす

る。という人本精神に対する実践でもある。

中国二十年来扶贫贴息贷款的实施与挑战——基于对湖南吉首和贵州六枝地区的调研与考察

张琦¹ 张霞²

¹北京工商大学经济学院 ²中国人民大学经济学院

摘要

作者根据对贵州六枝地区、湖南吉首地区农村金融和小额信贷情况的实地调查、对中国扶贫基金会小额信贷部、社科院农村发展研究所农村发展扶贫基金会、津上中国 (Planet Finance, 法国, NGO) 小额信贷机构、贵州六枝地区扶贫基金会贫困农户能力建设支持中心等小额信贷机构、贵州六枝地区农村扶贫办和信用社、对农村发展和农村金融专业学者的访问, 并参考现有文献资料, 对 2008 年之前的中国扶贫贴息贷款政策运行进行了考察, 针对资金入户率、瞄准性和贷款回收率这三项指标对资金运行效率进行了分析。分析认为, 地方政府和农业银行的经济目标和扶贫目标的冲突、扶贫贴息贷款的福利性低利率、监管机制的缺乏、基于政治社会因素考虑的错位的贷款回收制度以及贫困农户自我发展能力不足造成了中国扶贫贴息贷款存在资金投向不合理、针对目标偏移, 以及贷款回收率低三大主要问题。

作者根据对小额信贷政策的调研, 综合所调研的机构和专家意见, 对进一步改进扶贫贴息贷款资金运行效率提出了建议:

(1) 不断探索将经济功能和扶贫政策功能有效结合的运行方法, 进一步提高扶贫贴息贷款资金运行效率。为提高扶贫资金的运行效率和扶贫效益, 2008 年 4 月 23 日, 经国务院同意, 国务院扶贫办、财政部、人民银行、银监会联合下发了《关于全国农村扶贫贴息贷款管理体制改革的通知》, 决定全国改革扶贫贴息贷款管理体制。根据通知, 中央将扶贫贴息贷款管理权限下放, 扶贫贷款和贴息资金从中央管理, 改为由省、县管理; 金融机构由过去独家承担扶贫贷款任务的农业银行, 扩大到所有自愿参与扶贫工作的银行业金融机构, 农村认为可以在此基础上进一步加大改革力度, 扶贫贷款业务可由农业银行等有基层网点的合作银行、农村信用社、邮政储蓄银行等金融机构、村镇银行、贷款子公司、农村资金互助社等新型农村金融机构, 以及小额贷款组织竞相参与, 中标机构方能承担扶贫贷款任务并获取一定的补贴资金, 通过竞争促进资金的运用效率, 增加各机构的积极性; 同时逐步建立起担保、风险补偿和激励机制。

(2) 为减少扶贫贴息贷款的漏损和针对目标群体的偏移, 可以考虑建立公共财政体系, 将扶贫贴息贷款 (包括其他财政扶贫资金) 列入财政预算, 由财政性扶贫资金统一管理办法, 资金的分配按照法定程序运行; 推行扶贫贴息贷款监管信息系统, 对扶贫贴息贷款从中央到省、县乃至到村进行全流程的监管, 实施严格的规范化管理; 建立绩效考核制度, 实行问责; 通过制度设计让贫困人口参与到项目选择、实施、监督和评估中去。

(3) 将农村的开放式扶贫转化为以社会发展为中心的扶贫, 加大对农村生态村建设、基础设施建设、社会保险体系、医疗保障体系以及教育等的财政支持, 逐步改变贫困地区社会、经济、文化的落后状态, 政府扶贫部门要督促贫困户从当地实际出发, 发展适应市场需要的种植业以及小工商业, 要加强对农户的信息服务、技术和技能培训、销售服务, 提高贫困户有效使用扶贫贴息贷款的能力。

中国二十年来の扶贫低利息融資の実施と挑戦—湖南省湘西吉首地域と貴州省六枝地域に基づく調査研究

張世 編著

1. 北京工商大学経済学部? 中国人民大学経済学部

報告の構成

一、研究意義、表題(課題)、研究方法

二、中国の農家が扶贫贴息貸款(扶贫利息融資)にアクセスできる比率、ターゲットと資金回収率

三、扶贫贴息貸款(扶贫利息融資)にアクセスできる比率、ターゲットと資金回収率の概況の分析(表1)

四、MISのマイクロクレジットが(扶贫低利息融資)にアクセスできる比率、ターゲットと資金回収率

五、政府扶贫補助によるマイクロクレジットと財政扶贫資金による社區の自己管理モデルについて

六、おわりに

、研究意義、研究課題、研究方法

1. 研究意義

1978 年以来、中国の農村経済改革は、急速な経済成長と政府の扶贫政策によって、農村部で著しい貧困削減の成果を挙げた。しかし、2000 年以来、中国農村の貧困の減少率は大幅に鈍化した。貧困削減のための政府補助金の融資は中国貧困削減戦略の重要な構成要素であったが、長期間農家の融資へのアクセス比率、ターゲットと資金回収率が低いことが注目されてきた問題である。扶贫贴息貸款(利息貼付融資)の融資効率を高めることは極めて重要である。

2. 研究課題

(1) 地方政府と農家銀行の経済目標と貧困削減目標との間には矛盾がある。扶贫は農家への福利の低金利、差別とカーストの差別、政治社会的な考慮に基づいた低い借株回

取システム、貧困農家の自己発展能力の弱さによって、投資方向の不合理性、目標の不適切と低回収率という一連の問題が起きている。

(2) NGOのマイクロクレジットの方法を参考にして扶貧型信用金を実施することは、資金へのアクセス率、ターゲット、資金回収率を高める効果的な方法である

3. 研究方法

フィールド調査やインタビュー、データ収集

湖南省湘西自治州地域と貴州省六枝地域に基づいての扶貧型信用金とマイクロクレジットの調査研究；中国扶貧基金会マイクロクレジット部、社会科学研究院農村開発研究所農村開発基金基金、Shanghai Finance Center（フランスのAGFのマイクロクレジット機関）、貴州省六枝地域中国扶貧基金会マイクロクレジット機関、貴州省六枝地域政府貧困事務所、貴州省六枝地域農村信用協会の組合で訪問、農村開発と農村金融の専門家や学者でインタビュー。

二、主要の農家が扶貧型信用金（利息割引融資）にアクセスできる比率、ターゲットと資金回収率

(1) 農家へのアクセス比率

1987-1991年の間、貴州省黄平県の80%以上の扶貧融資は企業にチャネルされた。直接農家に与える資金は僅か20%だけであった。その他の県に与える扶貧資金もほとんどなかった。2001年、湖南省は21の国家指定貧困県の農家に対して、2400万円の政府補助金の融資を与えたが、それは僅かに年間政府補助金の融資総額の5%にしか過ぎない。国家監督局の報告書により、2002年、国家扶貧開発の重点の県の貧困緩和のための補助金の融資は交通、工業、電力、通信などの産業に投入され、農家への政府補助金融資は前年比で縮小していた。

(2) ターゲット

農家への政府補助金融資は主に養殖農家あるいは異業企業家に与えられた。

国家監督局の報告書の抜粋では、2001年と2002年、農家への政府補助金融資のターゲット対象の中で、貧困世帯の割合は、それぞれ35.8%と33.8%で、非貧困世帯の割合は、それぞれ64.2%と66.2%であった。貧困世帯は面積の22%（2001年）、26.48%（2002年）を得たが、非貧困世帯は面積の68%（2001年）、59.52%（2002年）を得た。

(3) 資金回収率

農業銀行の統計によると、1987-1991年の間、政府補助金の融資返済率は平均20.7%に過ぎない。そのうち、の県や郷の企業への返済率は農家の返済率よりも小さい。2001年6月末に、中国農業銀行農家によるマイクロクレジット（返済不良）率は70%だった。

三、扶貧型信用金（利息割引融資）にアクセスできる比率、ターゲットと資金回収率が低い原因について

インクビューによると、その原因は次のとおり。

- (1) 地方政府が農業銀行の経済目標と返済目標との矛盾、
- (2) 低質財源借款の増加の割合、
- (3) 監視メカニズムの欠如、
- (4) 政府社会的な考慮に基づいた高い償還回数のシステム、
- (5) 貧困農家の自己発展能力の弱さ

四、2001年マイクロクレジットが（低利息融資）にアクセスできるため、ターゲットと資金両面で

2001年財政扶贫基金マイクロクレジット事業のコースの70%以上は国家指定の絶対的貧困ライン以下の農家であった。

2006-2009年の間、貴州省六枝地域中興扶贫基金会マイクロクレジット回収率は、91.18%、91.38%、97.09%。

2001-2004年の間、湖南省湘西吉首地域マイクロクレジット回収率は91.5%、85.8%、91.26%、91.57%。

寧夏扶贫与探地改造センター、1996-2009年を非営利で、寧夏全省マイクロクレジット事業は、法武県を中心とした19郷、207行政村、218自然村マイクロクレジット事業を実施した。2009年5月末までに、5600名が与えた。そのうち女性5510名（98%）を占めた。211世帯と所得歩留費家数は全体の92.5%を占めた。2001-2002年の間、マイクロクレジットは100%という高い回収率（返済率）であった。2006-2008年の間、自己金融機関の稼働率は93.15%、98.76%と100.0%であった。2009年には「80%以上」を返済するところとされている。

貧困削減効果から見れば、上元を返済すれば、178,000元金融増殖することができ、マイクロファイナンスのプロジェクトに参加して二年後の平均的な家毎73%以上の増殖した。

五、政府融資補助によるマイクロクレジットと財政扶贫資金による社会の自己管理モデルについて

2005年以降から、地方政府扶贫辦公室や婦人会は、500のマイクロクレジット事業の経験を生かし、低質財源借款を使ってマイクロクレジット事業を試みた。

2008年8月まで、政府によるマイクロクレジット事業は全国で29省の607県管轄同した。融資資金総額は合計6億元に達する、2008年に投入資金はすでに10億元以上に達している。そのうち、陝西省、雲南省、四川省、広西チワン族自治区と貴州省の規模が比較的に大きい。調査によると、いくつかの政府マイクロクレジット事業は、高い回収率を示した。2000年には、貴州省六枝地域扶贫辦公室のマイクロクレジット事業の返済率は100%であった。1998年には、中央政府は州と政府に対して、マイクロクレジット事業に年

進まないことを指したが、それによって、マイクロクレジットの実験は次第に縮小した。2001年には、ごく一部の地方政府の貧困削減辦公室が依然としてマイクロクレジット事業に手渡し続けられた。

これまでの扶貧資金管理体制の問題を解決するためには、「寧夏扶貧環境改造センター」は塩池県工業片郷會記村行政村（塩池自然村）で村レベルの財政扶貧資金社區自己管理モデルを表現した。そのモデルの資金は、中国財務省と日本國際協力銀行の共同出資によるものであった。その資金は、扶貧資金社區参加型の自己管理の仕組みや手順を實踐し、扶貧資金の漏れを減少させるために用いられた。また、中国の広大な地域の扶貧資金の管理、使用、監督、および評価モデルを適切にし、同時に農民の組織づくりを強化し、村民による村レベルの公共事業の管理への参加を高めるために用いられた。全ての資金が融資の形態で農家に与えられ、扶貧資金の管理、使用、監督、評価システムの表行により、地方幹部や非貧困農家、企業による資金の征占が減少し、「寧夏扶貧環境改造センター」のデータによると、以下の実践により全村の92%の農家が融資を借ることができ、資金が扶貧層に達した率の極めて高かった。それによって農家の経済収入が増え、さらに婦人が融資資金の管理に参加するようになり、村レベルの公共事業の管理に参加する村民の能力を高めた。

六、おわりに

政府による扶貧もは効果効率を向上させるために、本論文は以下のことを提案する：

(1) 農業銀行、農村信用協同組合、郵便貯金銀行、村の銀行は、小額融資の企業、マイクロクレジット機関などのマイクロクレジットプロジェクト運営の経験をもとに、政府補世金の融資を実施する。

(2) 財政扶貧資金を地域社会での自己管理を実施する。

(3) 農村の間接性扶貧から社会発展を中心とする貧困緩和へと方向転換し、農村の生態環境改造を強化し、インフラ整備、社会保険システム、医療保険システムおよび教育などを財政的に支援し、貧困地区の社会・経済・文化的な立ち遅れの状況を根本に変えてきた。政府の扶貧部門は貧困農家の現状から出発し、市場の要求に適合する養殖業や副業を發展させ、農家に情報サービス・技術・技能育成、販売サービスを強化し、貧困農家が扶貧基金借款を有効に利用する能力を高めるべきである。

基于 SPOT-VGT 的宁夏盐池县近 8 年生态环境动态监测

杜灵雁 李国旗

(宁夏大学西北退化生态系统恢复与重建省部共建教育部重点实验室)

关键词 生态环境, SPOT-VG, 遥感, 生态治理工程, 盐池县

摘要

为评价宁夏盐池县近年来生态环境质量的变化,该文利用最新的 0.1 合成 SPOT-VGT
NDVI 数据,合成最大植被指数(MNDVI)和年平均植被指数(YMNDVI),并结合盐池县的
降水数据,分析了 1999-2006 年间 MNDVI 和 YMNDVI 的变化,同时,还基于线性回归
分析生成了这 8 年来每个象元 MNDVI 和 YMNDVI 的变化趋势。MNDVI 的变化趋势显
示,在 1999-2006 年盐池县植被指数改善面积为 6 345 km², 占总土地面积的 73.27%,
而呈现退化的面积为 1 449 km², 只占总土地面积的 16.72%; YMNDVI 的变化趋势也显示,
植被出现改善的土地面积大于植被出现退化土地面积。综合分析结果表明,宁夏盐池县
1999 年以来整体生态环境处于好转状态,虽然有部分年份受严重干旱影响出现植被退化,
但整体土地植被开始增加,生态环境开始改善,已扭转了 20 世纪 90 年代生态环境退化
局面,并初步显示出一定的抵御自然灾害的能力。

SPOT-VGT に基づく寧夏塩池県の 8 年間の生態環境動態に対する監 視測定

杜家明 李国斌

宁夏大学 西北退化生態システム回復と再建教育推進研究センター

キーワード: 片断環境 SPOT-VGT リモートセンシング 生態治理工程 高频率
要旨

高频率の寧夏塩池県における生態環境品質の変化を評価するために、本論文では最新
の 0.1 合成 SPOT-VGT NDVI ラスター、合成最大植被指数(MNDVI)、年平均植被指数(YMNDVI)、
及び塩池県の降雨データを利用し、1999 から 2006 年に関する MNDVI と YMNDVI の変化
を分析した。また、一次線形回帰分析により、8 年間の象元 MNDVI と YMNDVI の変化動向
をシミュレーションした。その結果、MNDVI の変化動向として、1999 年から 2006 年の間
における生態環境改善面積は 6345 km² (総土地面積の 73.27%)、土地退化面積は 1449
km² (総土地面積の 16.72%)であった。しかし、YMNDVI の変化動向では、改善が改善した
土地面積は植生の退化した土地面積より大きくなったことが明らかになった。総合分析により、
寧夏塩池県では 1999 年以来、全体的な生態環境が良好状態に向かっているという結果が
出ている。少雨の年々の影響で植生の退化現象が起きた年もあったが、全体的に見ると
植生が増え始め、生態環境が改善しつつあり、20 世紀 90 年代の生態環境の悪化を止めた
ため、また一定の自然災害の耐性力を持つようになったことが示された。

民族地区农村劳动力转移与农业现代化建设问题研究

田野

西安大学

本研究通过对民族地区劳动力的转移的描述和分析，深入挖掘民族地区传统的文化观念、社会结构、宗教信仰系统等相关问题对民族地区的农村发展模式、现代化的管理机制所形成的影响和作用，并通过对民族地区的个案社区研究，在辐射大的区域文化背景下，发现农村机制的改革和农村现代化发展的必要性。

民族地域における農村労働力の流出と農業現代化建設問題に関する研究

田村

吉南大学

本研究では、民族地域の労働力の流出に関する叙述と分析を通じ、民族地域の伝統的文化概念や社会構造、宗教信仰システム等に関する問題が民族地域の農村発展モデルや現代化管理メカニズムに対して与える影響と作用について深く掘り下げる。また、民族地域の各コミュニティ研究を通じ、影響が及ぶ地域の文化背景の上における農村管理システムの改革と農業の現代化発展の必要性を見出した。

农村劳动力就业形态的变化——当地农民和农村的关联

桑田哲介 井口隆史 高村英

研究背景

由于中国农村过剩的劳动力向城市和农村以外的地方转移，导致了其它行业得到发展，同时农村的贫困问题也因此得到缓解，日本在经济发展过程中同样也存在着以劳动力转移来解决农村过剩人口的问题，因此使城市和农村以外的行业得到很大的发展，由于日本的农村人口一直在不断地进入城市，因此导致了一直支撑着农业和农村的农业继承人的缺乏，特别是条件不利的地区，这个问题更加明显。

以此为契机，伴随着经济发展，从农村和产业间的劳动力转移，不仅是经济，还要关注农民与本地区紧密结合的变化，要在条件不利地区实行可持续发展，保持适当规模的农民是最基础的先决条件，另外，根据本地区农民以及地区状况，来充分利用管理民式系统是走向可持续发展的捷径，能够最便捷继承这些的恰恰是当地的农民。

根据上述观点，有必要测量当地农民和农村结合的强度，这样的强度不仅是判断当地农民扎根农村的持续性的依据，也是判断从外部来的志愿者或者是回去后又返乡的农民是否成为未来农村管理者的依据。首先在本次研讨会上，我将根据08年8月在以宁夏吴忠市河床海村为中心的北部地区调研的结果，结合09年9月对西宁市彭阳县农民所做的入户问卷调查，以及对当地农民和农村结合方面的观察，对其结合的强弱程度的测量方法做以下报告。

调查

主要的是上市（地级市）的汴梁村是离又忠寺中心有 20 分钟车程的地方，距离灵武市最近，是一个打工通勤交通便利的地区；另外我认为由于灌淤肥沃的平原地带，当地农民有着得天独厚的自然条件。

固原市彭阳县位于山区，地质结构复杂，但作为一个在恢复自然环境和克服贫困两方面都取得了成就而被世人瞩目。县城规模很小，当地农民以外打工一方为主，因为降水比较少，又是丘陵地带，农作的自然条件是很差的。

这两个地区的条件对关联性很强，彭阳县的所谓成就全为了克服贫困、恢复自然环境而实施生态移民改造的地区。作为研究的对象地，虽然还存在不少疑问，但通过本次调查，还是达到了把握与应测定的相关性数据的目的。

关联

大体上设定为：人与土地的关系与地区社会的关系与乡土关联的关联。即农民以耕地为中心对土地意向方面的关联。这一点可能与日本农民有土地的意识有着根本的不同。又农民与当地的关系、打工、空返等方向性关联。在调查地，不像在日本见到的那样，农民参加宗教活动和地区运营相关性的活动很少，参加个人和宗教性的活动成为很多。我直接感受到乡土自然和风俗习惯的传承和自觉。

農村労働力の就業形態の変化・住民と農村のつながり

高畑泰介・井口隆夫・島村英

研究背景

これまで中国では農村の過剰労働力が都市・農外部門へ移動することにより、農外部門の労働力不足と農村における貧困問題の緩和がなされてきた。同様に日本の経済成長過程においての労働力移動による農村過剰人口の解消と都市・農外部門の成長が、重要な現象がみられたが、日本においては農村人口の流出は留まることなく続き、農業・農村の維持・管理の問題が顕在化問題となるまでには至った。特に条件不利地域においては問題が顕著である。

そこから窺うに、経済成長に伴う地域間・産業間での労働力移動に際し、経済的成長だけでなく、地域との結びつきの変化に対しても注意を払う必要がある。条件不利地域における持続可能な発展とは、適上の規模の住民を維持することの基幹となる。また地域住民により地域振興が世に発展した管理システムを利用することが持続的発展への近道であり、それらを継承しやすいためまた地域出身者である。

上記の観点から、地域住民と農村とを結びつけているもののその強度を計測する必要があると考える。その強弱は地域居住の維持を判断するだけでなく、外部からの支援者、或いはボランティアによる将来の地力低下といった難村者への期待を判断する材料になる。考えられる。去年今年度のセミナーでは、寧夏において 08 年 8 月に行った呉忠市河渠沿河

を中心とした北部灌漑区での農家ヒアリングおよび09年9月に山形市彭場基で行った農家ヒアリングに基づき、村と住民を結び付けていると考えられるものを「つながり」として概観し、それらの「つながり」の強弱の計測方法について報告する。

調査

調査地が都市にちなむ県界止の河川津村は市中心部から路線バスで20分ほどであり、東西にも近く、通勤兼業が比較的容易な地域である。また肥沃な平野部に位置し、農業について比較的条件的良い地域と思われる。

山形市彭場基は山間部に位置し、貧困地帯にあつたから、自然環境の回復と貧困克服を両立しつつある県として注目されている。県の都市の規模は小さく、農家の農外就業は出稼ぎが主である。また降水量が極端に少ない丘陵地帯が主つき農業も非常に厳しい。

これら二地域の対照的条件に興味深い。彭場基の調査地は主に貧困克服と自然環境の回復のため移住が推奨されている地域である。本研究の対象地として適当な疑問が残るが、今回の調査は計測すべき関係性の種類の導出までを目的とした。

つながり

大きくは「土地とのつながり」地域社会とのつながり「自然環境とのつながり」の3つを想定している。元は耕地を中心とした土地への意識と関わり方であるが、日本と土地に対する意識が根本から異なる可能性がある。それは地域の組織・行事等への関わり方、地域内の交友関係などである。調査地ではほとんど見られないような組織的な活動また地域運営に関与する住民参加の機会が少なく、個人や宗教によるものが大きいようである。次にこの二つは都市の自然や風俗習慣への誇りや愛着などを直接的に取り上げたい。

宁夏西海固地区劳务经济发展研究

韩秀丽

宁夏大学・岛根大学国際联合研究

关键词 劳务经济，劳动力转移，西海固地区

摘要

宁夏西海固地区自然环境恶劣，农村资源稀缺，农民素质偏低，工农业生产落后，经济社会发展缓慢，农民收入差距越拉越大，再加上农业比较收益的低下，以及第一产业就业空间极其有限，农村农民收入问题自然而然地演变为如何合理解决农村剩余劳动力的就业问题。因此，国家引导发展西部贫困地区农村劳务经济是转移农村富余劳动力，增加农民收入的重要途径。目前，宁夏西海固地区农村人口已达到293万人，占总人口的91%，农村剩余劳动力一百多万人，占劳动力总量的50.6%，劳务输出作为“铁田庄稼”已被各级政府高度重视，并确定为增加农民收入的一项重要任务来完成，伴随着经济和社会事业的不断发展，宁夏西海固地区的劳务输出工作取得了长足发展，劳务收入已向农民人均纯收入三分之一以

上,成为增加农民收入的主要途径。本文在阐述了西海固地区劳务经济发展特点的同时,分析了劳务经济发展的潜力,即市场潜力、劳务潜力和发展潜力。

宁夏西海固(西吉、海原、固原)地域の労働経済発展に関する研究

堀秀隆

马思大学 宁夏大学国際共同研究所、宁夏大学西部発展センター

キーワード・労働経済・労働力移転・西海固地域

要旨

宁夏西海固地域は自然条件・農村資源・農民の素質の3つの条件が悪いことから、農業・農家の生存が危殆にあり、農民間の格差がますます大きくなってきている。また、農家の比較収益が低下しており、第二次産業への依存が限られているため、農民の収入を高めるという問題は、いかに農村の全労働力を合理的に解決するかという問題の方向性から執行して行く。つまり、西部貧困地域に対応する農村労働経済の有利発展と農民の全労働力を移転することであり、これは農民の収入を増やす重要な方法でもある。現在、宁夏西海固地域の農村人口は200万人以上、総人口の3割を占めていくが、その内農村剩余労働力は百万人余り、総労働力の50%以上を占めている。労働輸出制度(「送戸回籍」(「家」に帰来して働く))として各クラスの政府に重視されており、農民の収入を増やすための果敢な取り組みとして認識されている。経済・社会事業の進展に伴い、宁夏西海固地域の労働輸出事業は長期的な発展を遂げ、労働収入が農民一人当たり年補収金の二分の一を占めるようになり、労働輸出事業は農民収入を増やすための重要な手段となった。本論文は西海固地域の労働経済の発展特徴を論述するが同時に、労働経済事業の潜在力、つまり市場潜在力と効果と利益の潜在力、成果の潜在力を分析した。

科技创新与宁夏西海固地区农村经济增长

马思

宁夏大学・马思大学国際共同研究所

关键词 科技进步, 农村, 经济增长

摘要

科技进步与创新,是农村经济增长的原动力,是农村经济保持动态发展的必要条件。建设社会主义新农村,发展农村经济是中心任务,增加农民收入是核心任务,改善农村生态环境是重要基础。要实现农村持续增收,农民持续增收,必须依靠科技兴农的引擎,提高农村科技贡献份额,推进农业结构调整,突破农产品加工业,延长农业产业链,增加农产品附加值,提高农业比较效益,打造农民收入持续增加的坚实基础。实施西部大开发,缩小西部地区与东部省区的经济差距,其中一个重要方面就是实施西部科技兴农战略,推动西部地区

的科技進步，提高西部的科技創新能力。因此，地处少数民族聚居地区的宁夏西海固地区，农业农村经济逐步实现粗放型向集约型的转变、数量型向效益型的转变，必须依靠科技进步与创新。本文在分析近年宁夏西海固地区农村科技创新的现状的基础上，通过建立C-D生产函数测算出1986—2005年间该地区固原市原州区农业科技进步率为6.77%，指出了制约其科技创新的因素，并根据宁夏西海固地区农村经济和社会发展的实际，提出了促进该地区农村经济以及经济增长方式转变的建议。

科学技術の革新と寧夏西海固地域の農村経済成長

弓旻

宁夏大学 马根大学国际共同研究所

キーワード・科学技術進歩 農村 経済成長

要旨

科学技術の進歩と革新は農村経済が成長するための原動力であり、農村経済の持続発展を維持する上で必要な条件である。社会主義における新農村建設では、農村経済の発展が中心となり、農民収入の増加が中心、農村生態環境の改善が主要な基礎である。農業の持続的な発展や農民の特長的な収入増加を実現させるためには、科学技術の進歩に依拠し、農業科学技術貢献のレベルを高め、農業システムの調整を行い、農産品加工を進め、農業の産業連関を拡大し、農産品の付加価値を高め、農業の比較利益を上げ、農民収入の持続的増加のために基礎を固く築き上げなければならない。西部大開発の実施により西部と東部の経済格差を縮小させるためには、自給自足技術の創設という戦略を実施し、西部の省・自治区の科学技術の進歩を促進し、西部の科学技術の革新能力を高めることが重要な方法の一つである。少数民族の条件不利地域にあたる宁夏西海固(寧夏の西海固、海原県、固原市)地域における農業農村経済の粗放型から集约型への転換、数量型から効果型への転換は、科学技術の進歩と刷新にかかっている。本論文では、近年来の寧夏西海固地域の農村技術革新の現状を分析し、C-D生産関数をつくり、1986～2005年の固原市原州区の農業進歩率を算出した結果、6.77%となった。そして、科学技術の進歩を制限した要因を指摘し、寧夏西海固地域の農村経済と社会発展の實際状況に基づいて、当該地域の農村経済発展と経済成長方式の転換を促進する提案を提出した。

宁夏的风力发电 CDM 事业的经济效益和环境改善效果

惠文秀¹ 王雷昌²

¹ 马根大学大学院 人文社会科学研究所、² 马根大学法学院 法经学科

摘要

1. 研究概述

本报告主要是,对中国宁夏回族自治区的风力发电 CDM 事业(清洁发展机制项目)进行经济和环境改善效果的分析。

关于本报告的背景,主要涉及以下3点。第1, 风力发电作为防止地球温暖化对策之一,在世界各地迅速发展。中国可再生能源发展规划有 10 亿 KW, 宁夏现设有风力发电机的 200 台(总装机容量 53.6 万 KW)。第2, 宁夏是中国西部大开发政策发展对象区域,随着宁夏工业的快速发展,能源不足成为新的课题。除火力发电之外,宁夏在发展风力发电等可再生能源发电方面崭露头角。第3, 中国的风力发电产业随着 CDM 事业不断发展的前景,期望 CDM 事业,以改善发展中国家地球温暖化对策和促进地区经济发展为目的,今后有必要进一步把握 CDM 事业的环境改善效果和经济效益。

2. 调查结果

本报告(调查对象)于 2009 年 9 月就有关宁夏风力发电 CDM 事业的经济效益和环境改善效果进行了实地调查。调查单位及对象是宁夏发电集团和宁夏回族自治区环保局等 6 处,以及大丰(宁夏)风力发电有限公司、贺兰山风力发电(宁夏)风电厂,经过调查,总结以下 3 点特征。

宁夏的风力发电 CDM 事业有很好的经济效益,现在的宁夏风力发电的卖电价格是 0.56 元/kWh(国家指导价格在 0.5~0.61 元/kWh 之间),1kW 的年收入约 1000 元,1kWh 的动态投资约 6000 元。风力发电机的寿命是 20 年,初期投资 2.8 年可以回收。所以说风力发电 CDM 事业有很好的经济效益。

由于 CDM 项目产生的 CERS 收入对今后项目减轻投资压力和生产运行成本都有着积极作用,如果 CDM 项目成功的话,可以获得先进的技术和服务资金支持。风电项目在投资、电价、上网电价等方面存在着较大的不确定性,这将会给项目的实施带来风险,进而影响项目的效益,CERS 收入有助于降低这些不确定因素带来的不利影响。提高项目的抗风险能力。宁夏现在已经签发的 5 个风力发电 CDM 项目能(二氧化碳减排量约 58.1 吨(2009 年 1 月 1 日~2009 年 7 月 20 日)),如果按照一吨价格 10.5 欧元计算,推测已经获得 610.3 万欧元的 CERS 收入。

风力发电可以减少二氧化碳、二氧化硫等的污染物质的排放,今后由于风力发电的快速发展,将进一步减少中等的此类污染物减排量。

3. 结论

宁夏的风力发电 CDM 事业有良好的经济效益和显著的环境改善效果,但是世界各地 CDM 事业在实施过程中由于不恰当的环境影响评估造成的环境破坏问题,项目的追加等造成的项目计划与实际不相符合等问题,经常被指出。因此对这些问题的研究,对宁夏的风力发电 CDM 事业是一个综合性的课题是今后的课题。

寧夏における風力発電 CDM 事業の経済効果と環境改善効果

奥文典¹⁾・上原信哉²⁾

¹⁾ 鳥取大学大学院 人文社会科学研究所、²⁾ 鳥取大学法文学部 法務学科

1. 研究課題

本報告の課題は、中国寧夏回族自治区における CDM (Clean Development Mechanism) としての風力発電設置事業の経済効果と環境改善効果を分析することである。

本報告の背景について3方言及した。第一に、風力発電は、地球温暖化対策として世界各地で急増して設置されている電源である。中国の風力発電潜在力は 10 億 kW と推定され、寧夏では約 500 萬 (51.8 万 kW) の風力発電が設置されている (2009 年 9 月の現在)。第二に、寧夏は中国西部大開発計画の対象地域に含まれ、近年、工業化の進展により、エネルギー不足が懸念されている。石炭火力発電以外に、風力発電などの再生可能エネルギーの開発が積極的に進められている地域である。第三に、中国では地球温暖化対策として多くの CDM 事業が実施されているが、その中で CDM 事業による風力発電設備を増えている (CDM 1)、発展途上国での温暖化対策の促進と地域経済発展の同時達成を目的としており、その環境改善効果と経済効果を把握する必要がある。

2. 調査結果

佐古哲 (奥文典) は、2009 年 9 月に寧夏で風力発電 CDM 事業の経済効果と環境改善効果に関する現地調査を行った。調査先は、寧夏発電集団会社や寧夏環境保護庁など 6 ヶ所であり、賀蘭山風力発電所や太陽山風力発電所なども視察した。その結果、次の3つの結論が明らかになった。

第一に、寧夏での風力発電 CDM 事業は十分に利益を確保できる。最近の寧夏での風力発電による平均的な発電価格は 0.56 元/kWh である (1元は約 16.7 円、kWh は 1kWh 当たり 1時間発電量に相当する) であり、1kW 当たりの設備投資額は平均で約 9,000 元である。風力発電機の耐用年数は約 20 年であり、初期投資が 7~8 年程度で回収できることから、十分に利益を得ることができる。

第二に、CDM 事業による CERs (Certified Emission Reductions) からの収入が事業のリスクを緩和し、他の投資へ波及している。CDM 事業が認定されると、最新技術の移転や計画外の資金援助を獲得でき、さらに CERs 収入が補助増額となり、次の融資の有利な条件につながる。風力発電は、巨額の設備投資、安定した発電量の確保、有利な発電価格の維持など経営上の不確実な要素をもつが、CERs 収入がこれらの要素を軽減できる。寧夏での風力発電 CDM 事業による CERs 発行量は 38.1 万トンであり (2009 年 1 月 1 日 ~ 7 月 26 日実績)、GtG 3 カントリーの CERs 収入が得られたと推測される (1トン = 10.5 ユーロとして換算)。

第3に、電力発電によって二酸化炭素や、酸化窒素などの汚染物質の排出量を削減すること、が期待される。今後も、電力発電の設置が計画されており、さらなる非化石エネルギーの削減が期待されている。

3. 結論

東京での電力発電CO₂事業は、フランスの経済効果と環境改善効果をもたらしることが明らかになった。だが、世界で実施されているCO₂事業には、不適切な環境影響評価による環境被害や、事業の途中で追加の問題が生じた事業計画、事後の実際と意図が生じている事例が多く指摘されている。これらの問題点の検証などを通じて、東京でのCO₂事業の総合的な評価を行うことが今後の研究課題として残されている。

日本島根県出雲市山区代謝綜合症の发病率调查——日本内科学会 及厚生労働省の診断标准

1 堀 益徳¹、堀 雅之²、杨建³、山口健⁴、山口隆平⁵、高田康一⁶
1 岛根大学医学部环境预防医学、2 环境医学、3 第二内科、4 臨床検査医学、5 岛根医科大学、

摘要

目的

众所周知，胰岛素抵抗（胰岛素敏感性降低综合征）与肥胖型肥胖的人群集多种病理状态的胰岛素抵抗、高血压、血脂异常、低高密度脂蛋白胆固醇、尿酸升高等。患有这些代谢异常的人群，易发生心脑血管疾病。因此，1998年世界卫生组织定义这些病理状态为代谢综合征，并提出了相关的诊断标准。至此，日本厚生劳动省在老年健康促进法的基础上，大规模实行了包括代谢综合征的健康检查内容和保健指导的体检与体检。而且从2008年4月开始，实行以健康保险制度为实施主体的、针对生活习慣病的特定健康检查和特定保健指导。厚生劳动省公布了特定保健指导对象的诊断和选择标准。通过特定的健康检查，早期发现代谢综合征人群及高危人群，以特定的保健指导进行个人的特别跟踪指导和生活方式改善指导。本文中采用日本内科学会等组织规定的面向日本人的诊断标准和厚生劳动省选定的适用于自创地区居民的标准，来调查研究代谢综合征的发病率，明确地分析、说明该地区的发病特征。

対象和方法

2006年～2008年，在岛根县出雲市社会、产业和福祉部，以20岁以上的居民和劳动者为对象实施了健康调查。体检对象中接受全部检查的男性为913人，女性124人，合计1037人。对这些人群的健康调查数据进行了分析。

結果と讨论

依据日本内科学会等组织制定的面向日本大群的诊断标准，该社区代谢综合征的发病率男性为12.1%，女性为9%。而在该山间地区壮年劳动者男性则罹患肥胖型脂肪肝和代谢综合征的较多。依据日本厚生劳动省选定的标准本次特定保健指导对象中，大约36%的男性需要接受特定的保健指导和健康教育，以目前所得出的出云二镇的比例又推測日本全国的状况，预计到2012年，全国将必须为300万人提供特定保健指导，约400万人需要接受并形成健康的生活方式教育。所以，加强对国民的健康教育和生活指导，在劳动场所建立代谢综合征的预防体系显得尤为重要。

島根県中山間地域におけるメタボリックシンドロームの有病率

○ 菊 堀徳郎¹・山崎雅之¹・楊 建平¹・¹星河 徹²・山口修平³・益田昭一⁴

1 島根大学医学部環境予防医学、2 病態病理学、3 第一内科学、4 臨床検査医局、5 東京医科大学

はじめに

インスリン抵抗性（インスリン依存性糖取り込みの障害）や内臓肥満を有する人は高インスリン血症、前中性脂肪血症、低HDLコレステロール血症、高血圧が重積することが知られてきた。これらの代謝異常を重積した人は、心血管疾患に罹患しやすいことから、世界保健機構は1999年にこうした病態をメタボリックシンドローム(MS)と名付け、その予防を推進している。厚生労働省は、これらで老人保健法に基づいての取組が実施してきた健康診査と保健指導を大幅に見直し、2008年(平成20年)4月より健康保険組合を実施主体として生活習慣病の特定健康診査と特定保健指導を行うこととした(1,2)。厚生労働省は、特定健康診査によりMSやその予備軍を早期発見し、特定保健指導により個別的に予防することとし、特定保健指導対象者の選定と階層化を公表している(厚生労働省選定基準³)。MSの各診断基準の効果や適用性については他誌(3)に譲り、本稿では日本内科学会等による日本人向け診断基準(4)と厚生労働省による選定基準(2)を中山間地域住民に適用して有病率を検討し、その特徴を明らかにした。

対象と方法

島根県出雲市中山間地域において、2008-9年に20歳以上の住民の70%の労働者を対象に健康調査を実施した。そのうち、絶食状態での身長、体重、ウエスト囲、血圧、血液生化学的検査を受診した男性913人、女性1124人の計2037人について解析を行った。

結果と考察

日本内科学会等による日本人向け診断基準によるMS有病率は男性12.4%、女性8%であった。中山間地域でも働き盛りの男性では内臓肥満およびMSが多かった。厚生労働省選定基準により、今回の特定保健指導対象者のうちに、36%ぐらい男性が積極的支援又は

動機で労災補償を受けなければならない。また、この調査結果によって明らかになった被災中山間地域での割合から推定すると、2012年には全国では積率的支援レベル対象者は300万人、動機で労災補償の対象者は400万人くらいと考えられる。このため、国民への健康介入教育、職場や地域でのMSの予防対策の樹立が重要と考えらる。